

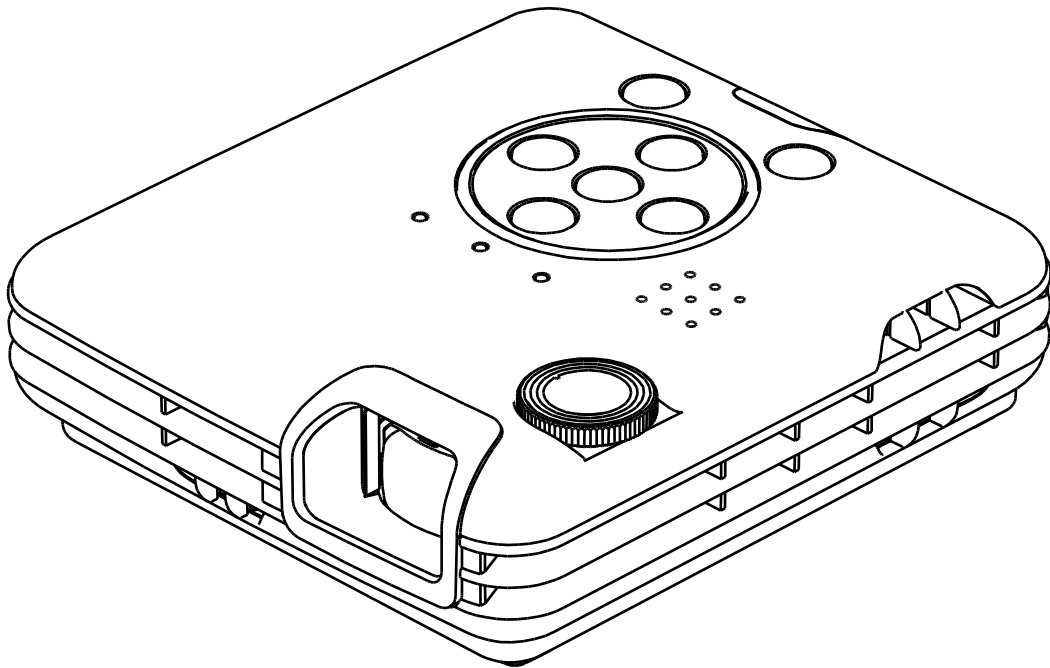
ELMO

BOXi T-350

MOBILE PROJECTOR

取扱説明書

日本語



- ご使用に先だち、必ず別冊「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 万一の際に備え、本取扱説明書は大切に保存してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために—必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。















図記号の意味

	名称: 注意 意味: 注意(しなければならないこと)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称: 禁止 意味: 禁止(してはいけないこと)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称: 強制 意味: 強制(必ずすること)を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称: 風呂場・シャワー室での使用禁止 意味: 製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称: 接触禁止 意味: 接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称: 分解禁止 意味: 製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称: 電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜け 意味: 使用者にACアダプタをコンセントから抜くように指示するもので、図の中に具体的な指示内容が描かれています。

⚠ 警告

<p>万一、煙が出ている、変なおいや音がするとき、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜く。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <p>煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	
<p>万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜いてください。ただちに販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
<p>万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜いてください。ただちに販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様のいる環境ではご注意ください。)</p>	
<p>万一、画面が映らないなどの故障の場合には、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜いてください。それから販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
<p>万一、機器を落とすなどによりキャビネットなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜いてください。それから販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
<p>この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。</p> <p>内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。</p>	
<p>この機器を改造しないでください。</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>	
<p>電源プラグ・ACアダプタのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電の原因となります。</p>	
<p>電源プラグ、ACアダプタは必ず付属品を使用してください。</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>	
<p>付属の電源コード・ACアダプタは本機専用です。</p> <p>他の機器には使用しないでください。</p>	
<p>電源プラグの刃や取り付け面にほこりが付着している場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、ほこりを取り除いてください。</p> <p>電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。</p>	
<p>雷が鳴り出したら本体、接続ケーブル、電源プラグ・ACアダプタなどには触れないでください。感電の原因となります。</p>	
<p>風呂場、シャワー室などの水がかかるおそれのある場所、湿度の高い場所で使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	


警告

ぬれた手で電源プラグ・ACアダプタを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。	
電源プラグ・ACアダプタの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしたりしないでください。 コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。(コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物を乗せてしまうことがあります。)	
電源プラグ・ACアダプタを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。 コードが破損して火災・感電の原因となります。	
電源コードやACアダプタコードをACアダプタ本体に巻きつけたり、結んだり、小さく束ねたりしないでください。 コードが破損して火災・感電の原因となります。	
この機器に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。	
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	
本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。 こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。	
本機およびACアダプタはカーペットや布団の上に置いて使用しないでください。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。	
本機およびACアダプタはテーブルクロスや布などをかぶせないでください。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。	
レンズをのぞかないでください。 ランプの点灯中は強い光が投写されていますので、目を傷めるおそれがあります。 特にお子様のご使用環境ではご注意ください。	
レンズに本体カバーを被せたり、レンズ直前に物を置いたままで投写をしないでください。 本体カバーや置いた物が高温となり、破損や火災の原因となります。	
吸気口・排気口をふさがない。内部に熱がこもり、火災の原因となります。 次のような場所には設置しないでください。 ・押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。 ・じゅうたん・布団・毛布などの上。 ・毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。 壁際に設置する場合は、壁と吸気口・排気口の隙間を開けてください。	
投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。 排気口付近は高温になる場合があります、やけどの原因となります。	
天井取り付け(天吊り)などの設置工事は、特別な技術が必要となります。 正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。 専門の技術者または販売店にご依頼ください。	

警告

電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。

- ・釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない。
- ・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。



注意

移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜いてください。外部の接続コードを外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



この機器を長時間、ご使用にならない時は、安全のために必ず電源プラグ・ACアダプタをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



電源プラグ・ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

必ず、電源プラグ・ACアダプタを持って抜いてください。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着したりして火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



コード類は正しく配置してください。

電源コードやHDMIケーブルなどは、足にひっかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続、配置してください。



お手入れの際は濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。水が中に入ったり、ケースが劣化し割れたりして感電の原因となります。



保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。

変色、変形、故障の原因となることがあります。



購入後、定期的な点検や内部の掃除は販売店に相談してください。

機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。



キャスター付きの台に機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグ・ACアダプタのコードを熱器具に近づけないでください。







コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



⚠ 注意

<p>この機器に乗ったり、重い物を乗せたりしないでください。特に、小さなお子様のいるご使用環境ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。</p>	
<p>排気口からは温風が吹き出すため、次のものを置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプレー缶(熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。) ・金属(高温となり、事故やけがの原因となります。) ・観葉植物やペット ・熱で変形したり、悪影響を受けたりするもの 	
<p>電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定の電池以外は使用しない。 ・電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。 ・交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。 ・長期間使用しないときは、電池を取り出す。 ・電池は加熱したり、火や水の中に投げ込んだりしない。 ・極性(+、-)を正しく入れる。 ・電池を廃棄するときは、地域の回収ルールに従ってください。 	
<p>リモコンから取り外した電池は、小さなお子様の手の届くところに放置しないでください。</p> <p>小さなお子様が電池を飲み込んだり、のどに詰まらせたりすることがあります。</p> <p>万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください</p>	
<p>ヘッドホンを使用するときは、音量に注意してご使用ください。</p> <p>耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</p> <p>耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。</p> <p>突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げてください。</p>	
<p>ヘッドホンを接続した状態で無理な力を加えると損傷の原因になりますのでご注意ください。</p>	

使用上のご注意

- 本機のご使用に際して、必ず付属の電源コード、ACアダプタをご使用ください。
- 付属の電源コード・ACアダプタは本機専用です。他の機種に使用しないでください。
- 電源コードは、販売した国に合わせたものが付属されています。日本国内で販売された製品に付属のACアダプタは、必ずAC100V、50Hz または 60Hz でお使いください。
- 電源コードやACアダプタコードをACアダプタ本体に巻きつけたり、結んだり、小さく束ねたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
- 本機を持ち運ぶ際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取扱ください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- 投写中に振動や衝撃を加えないようにしてください。また、車両・船舶などの振動や衝撃が加わる場所では使用しないでください。振動や衝撃が内部の部品をいため、故障の原因となります。
- 高圧電線や動力源の近くで使用しないでください。
高圧電線や動力源の近くで使用すると、妨害を受ける場合があります。
- 湿気やほこりの多い場所、タバコの煙や油煙、湯気などの当たる所では使用しないでください。レンズなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となります。
- 温度の高すぎるところや、低すぎるところでは使用しないでください。また、急激な温度変化も避けてください。
使用上の環境条件は次のとおりです。
温度：5°C～ 35°C 湿度：85%以下(結露しないこと)
- 低温の場所から高温の場所に急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたときに本機のレンズなどに結露が生じ、画像がぼやけることがあります。周囲の温度に慣れるに従って結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。
- レンズに直接手を触れないでください。
レンズ面に指紋や汚れが付くと、画像がぼやけることがあります。
- HDMI 機器に接続するときは、次のことをお守りください。
 - ・HDMI ケーブルは HDMI ロゴの付いた HIGH SPEED ケーブルをご使用ください。
HDMI 規格に準拠していないケーブルは使用できない場合があります。
 - ・HDMI 端子に外部接続した状態で過度な力を加えると HDMI 端子が傷み、故障の原因となります。
- 落下・転倒防止のため、次のことをお守りください。
 - ・安定した台、机、テーブルの上で使用し、決してぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
 - ・使用に際し、AC アダプタのコードや接続ケーブルが引っ張られないよう配置、配線をしてください。
- 輝点、黒点について
本機は、多くの画素により構成された表示デバイスを使用しており、なかには正常動作しない画素が存在する場合があります。投写画面上に輝点、黒点が見られることがありますが、表示デバイス特有の現象であり、故障ではありません。

- 明るさが徐々に変化するパターン画像を投写すると映像がちらつくことがあります。これは表示デバイス特有の現象であり、故障ではありません。

このような画像を本機で投写することは適していませんので、ご注意ください。

- 映像を投写中に出力機器の解像度を変更したときに、切り替えた瞬間の映像が乱れることがあります。これは入力された信号に応じて投写の設定を行っているためであり、故障ではありません。

- 寿命部品について

本プロジェクターは、ご使用となる環境温度が高い場合や、ほこり、タバコなどの煙が多い環境や、業務用途での長時間の連続使用でお使いになられるときは、ファンやプロジェクター光学部品等の寿命を縮め性能、品質が劣化する場合があります。8時間以上の長時間・連続運転のご使用はおすすめしていません。

ご使用状態によっては保証期間内であっても有償修理となる場合がございますのでご了承ください。有償の部品交換については、お買い上げの販売店か、最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。

目次

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	7
目次	9
1 準備.....	12
箱の中身を確認する.....	12
各部の名称とはたらき.....	13
プロジェクタ(本機).....	13
操作パネル.....	14
インジケータ一覧.....	15
接続パネル.....	16
リモコン.....	17
リモコンの準備.....	18
リモコンの有効範囲.....	21
設置する.....	22
画面サイズと投写距離.....	22
投写画面の位置を高くする.....	23
別売の本体カバーを使用する.....	24
カメラ用三脚を使用する.....	27
接続する.....	28
電源(ACアダプタと電源コード)を接続する.....	28
HDMI端子を使用した接続 - パソコンやビデオ機器など.....	29
AUDIO端子から音声を出させる.....	31
2 基本の操作.....	33
電源を入れる・切る.....	33
電源を入れる.....	33
電源を切る.....	34
ピントを合わせる.....	35
キーストン(台形歪み)を調整する.....	36
リモコンでキーストン(台形歪み)を調整する.....	36
本機でキーストン(台形歪み)を調整する.....	36
表示モードを選択する(リモコン).....	37
リモコンで表示モードを選択する.....	37
音量を調整する.....	38
リモコンで音量を調整する.....	38
音量を上げる.....	38
音量を下げる.....	38
本機で音量を調整する.....	39

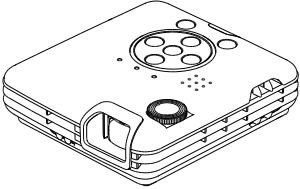
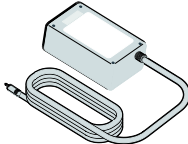
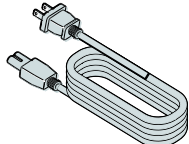
音声を消す	40
映像を隠す	40
ブライトネスを調整する(リモコン)	41
コントラストを調整する(リモコン)	41
エコモードを設定する(リモコン)	42
3 メニュー操作	43
メニューの表示と基本操作	43
メインメニューを表示する	43
メニュー画面を操作する	43
メインメニュー	45
キーストン(台形歪み)を調整する	47
表示モードを選択する	48
ユーザーモードを設定する	50
ブライトネスを調整する	53
コントラストを調整する	54
音量を調整する	55
音量設定	55
音声を消す(MUTE)	55
言語を設定する	56
詳細設定	57
詳細設定を表示する	57
各種情報を確認する	59
エコモードを設定する	59
アスペクト比設定をする	60
自動電源オフを設定する	61
投写モードを設定する	62
設置モードを設定する	63
CEC モードを設定する	64
出荷設定に戻す	65
4 お手入れ	66
レンズ、キャビネット、リモコンのお手入れ	66
レンズのお手入れ	66
キャビネットやリモコンのお手入れ	66
内部の点検・お手入れ	67
5 故障かな?と思ったら	68
投写画面のアイコン表示	68
温度&警告インジケータ表示	70
現象と確認	71
6 仕様	73
仕様	73

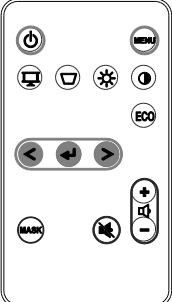


本機の仕様	73
リモコンの仕様	74
付属品	74
対応解像度一覧	75
商標について	77
9 保証とアフターサービス	78

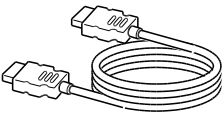
1 準備

箱の中身を確認する

本製品のパッケージ内容は以下の通りです。お買い上げのパッケージに下記のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

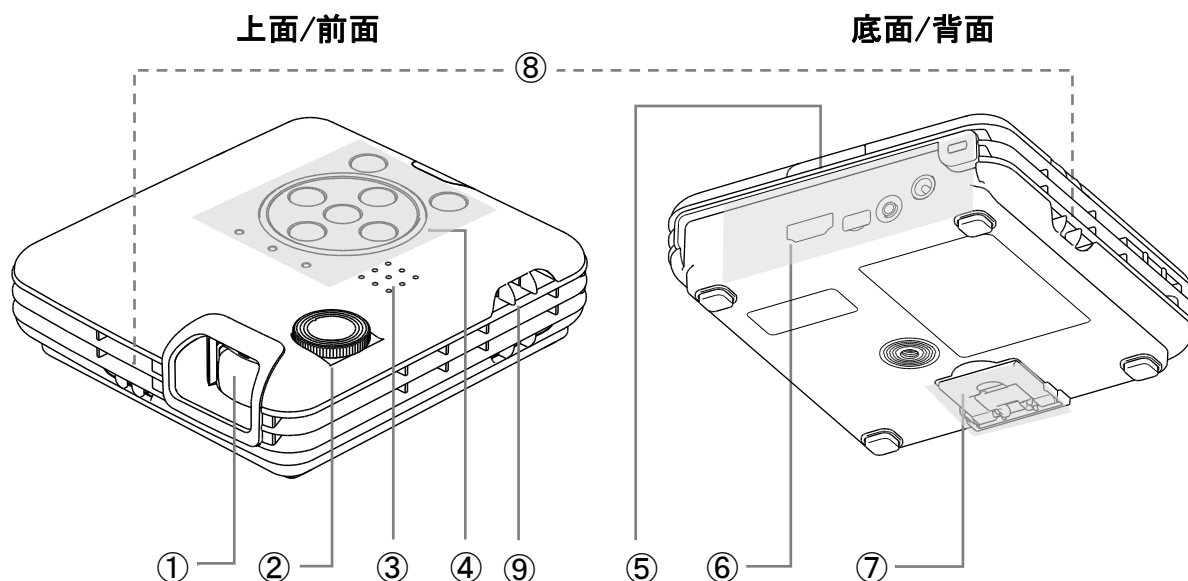
プロジェクタ (本機)	AC アダプタ	電源コード
		

リモコン	安全上のご注意 クイックスタートガイド	保証書
 *電池セット済		

HDMIケーブル


各部の名称とはたらき

プロジェクタ(本機)

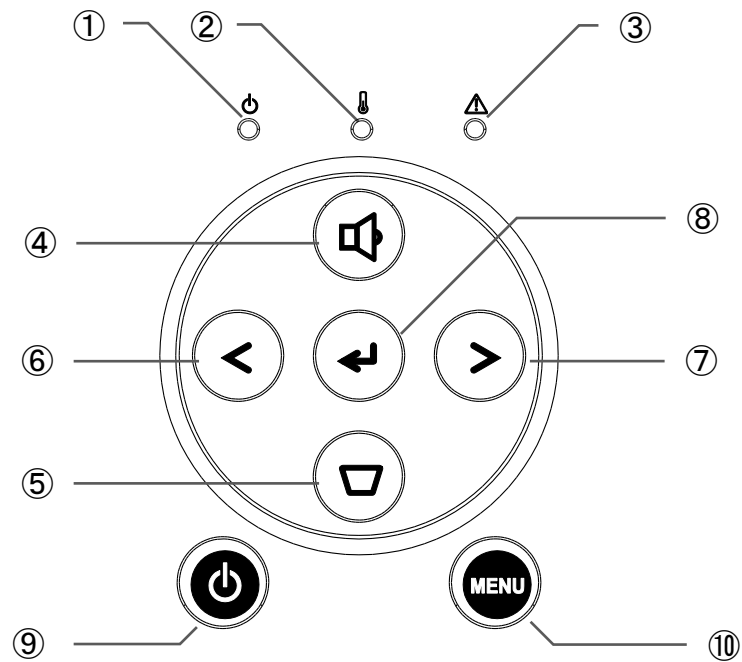


番号	名称	はたらき	参照ページ
①	投写レンズ	映像が投写されます。	→P.22
②	フォーカスダイヤル	投写画面のピントを合わせます。	→P.35
③	スピーカー	本機の内蔵スピーカーです。	-
④	操作パネル	本機の操作を行います。	→P.14
⑤	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。	→P.21
⑥	接続パネル	他の機器と接続するための端子部です。	→P.16
⑦	チルトスタンド	投写角度を調整できます。	→P.23
⑧	吸気口	本機内部を冷却するための空気取り入れ口です。	-
⑨	排気口	本機内部を冷却した空気のはき出し口です。	-

⚠ 注意

- ランプの点灯中、投写レンズからは強い光が投写されていますので、目を傷める恐れがあります。特にお子様のいるご使用環境ではご注意ください。
- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近は高温になる場合があります、やけどの原因となります。
- 排気口からは温風が吹き出すため、熱によって影響があるものを置かないでください。

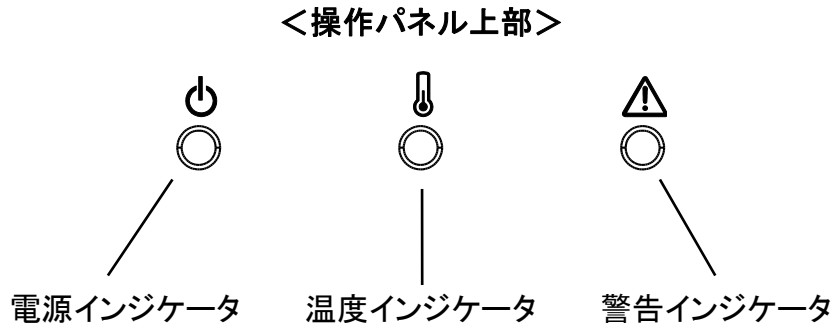
操作パネル



番号	マーク	名称	はたらき	参照ページ
①		電源インジケータ	本機の電源が入っているとき、緑色のLEDが点灯します。	→P.15
②		温度インジケータ	本機に温度異常が発生している場合、赤色のLEDが点灯／点滅します。	→P.15,70
③		警告インジケータ	本機に温度以外の異常が発生している場合、赤色のLEDが点滅します。	→P.15,70
④		音量ボタン	音量調整画面が表示されます。	→P.39
⑤		キーストンボタン	キーストン調整画面が表示されます。	→P.36
⑥		左 ボタン	選択項目を左に移動します。	-
⑦		右 ボタン	選択項目を右に移動します。	-
⑧		決定 ボタン	選択項目を決定します。	-
⑨		電源ボタン	本機の電源を入/切 します。	→P.33,34
⑩	MENU	メニューボタン	メニューの表示/消去をします。 メニュー操作のときは、選択項目を決定せず一つ前のメニューに戻します。	→P.43

インジケータ一覧

本機の上部にある3つのインジケータの色や点灯/点滅や点滅速度で動作状態を表します。



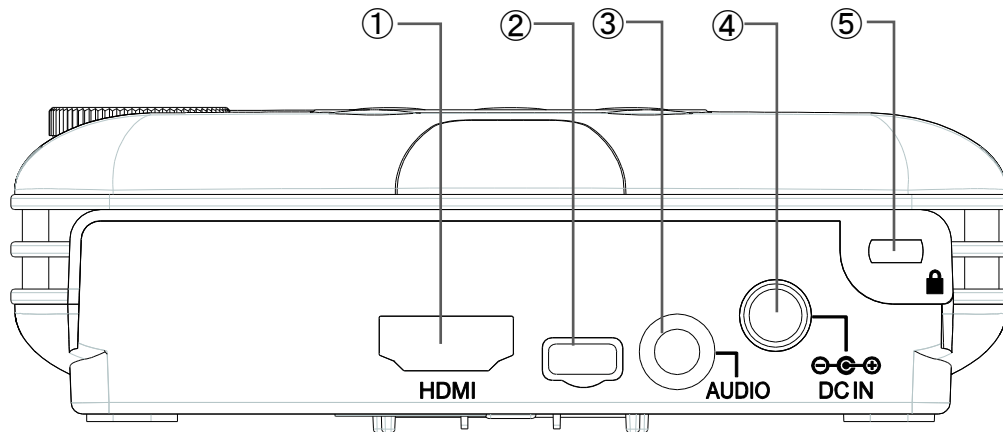
温度インジケータが点灯している場合は内部温度に異常が発生している場合です。


警告インジケータが点滅している場合は何らかの異常が発生している場合です。

温度 & 警告インジケータ表示→P.70 の対応方法をご覧ください。

電源インジケータ (緑)		参照ページ
点灯	本機の電源が入っています。	→P.33
消灯	本機の電源が入っていません。	→P.34
温度インジケータ (赤)		
点灯	内部温度の異常が発生した状態です。	→P.70
点滅 *0.25 秒間隔	内部温度が上昇状態です。	→P.70
消灯	正常な状態です。	→P.70
警告インジケータ (赤)		
点滅 *0.25 秒間隔	内部のファンに異常が発生した状態です。	→P.70
点滅 *1 秒間隔	LED の光量が低下状態です。	→P.70
消灯	正常な状態です。	→P.70

接続パネル

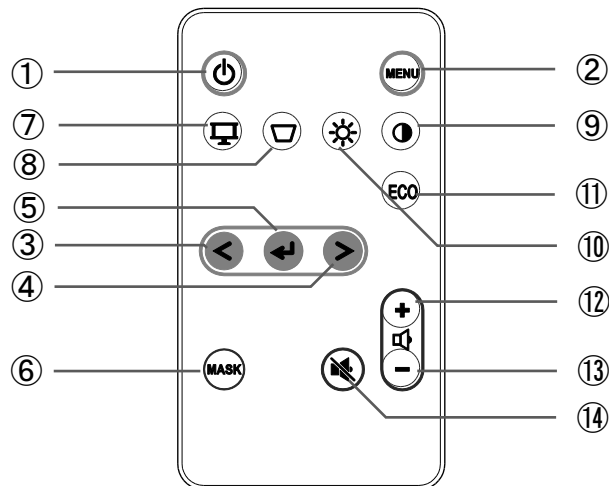


番号	名称	はたらき	参照ページ
①	HDMI	HDMI 信号の入力端子です。 HDMI 出力端子と接続します。	→P.29
②	MAINTENANCE	メンテナンス用の端子なので、ご使用できません。	-
③	AUDIO	ステレオヘッドホン出力端子	→P.31
④	DC IN	AC アダプタの差込み口です。 付属の AC アダプタを接続します。	→P.28
⑤		盗難防止用鍵穴です。 盗難防止用のセキュリティケーブルを接続します。	-

注意

- HDMI ケーブルは HDMI ロゴの付いた HIGH SPEED ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に準拠していないケーブルは使用できない場合があります。
- HDMI 端子に外部接続した状態で過度な力を加えると HDMI 端子が傷み、故障の原因となります。

リモコン



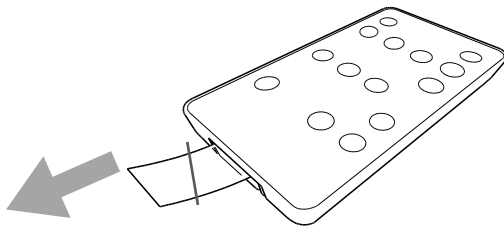
番号	マーク	名称	はたらき	参照ページ
①		電源ボタン	本機の電源を入/切 します。	→P.33,34
②		メニューボタン	メニューの表示/消去をします。 メニュー操作のときは、選択項目を決定せず一つ前のメニューに戻します。	→P.43
③		左ボタン	選択項目を左に移動します。	-
④		右ボタン	選択項目を右に移動します。	-
⑤		決定ボタン	選択項目を決定します。	-
⑥		ブランク画面ボタン	投写映像を一時的に隠すブランク画面を表示/キャンセルします。	→P.40
⑦		表示モード選択	シーンに応じた表示モードを設定できます。	→P.37
⑧		キーストン調整 (台形補正)	台形に歪んだ画面を補正します。 タテ補正を 1°単位で調整できます。	→P.36
⑨		ブライトネス調整	映像の明るさを調整します。 1 単位ずつ調整できます。	→P.41
⑩		コントラスト調整	コントラスト(明暗の対比)を調整します。 1 単位ずつ調整できます。	→P.41
⑪		エコモード設定	エコモードの設定をします。	→P.42

番号	マーク	名称	はたらき	参照ページ
⑫	🔊 +	音量+ボタン	内蔵スピーカーの音量を大きくします。	→P.38
⑬	🔊 -	音量-ボタン	内蔵スピーカーの音量を小さくします。	→P.38
⑭	🔇	ミュートボタン	音声を一時的に消します。	→P.40

リモコンの準備

ご購入時

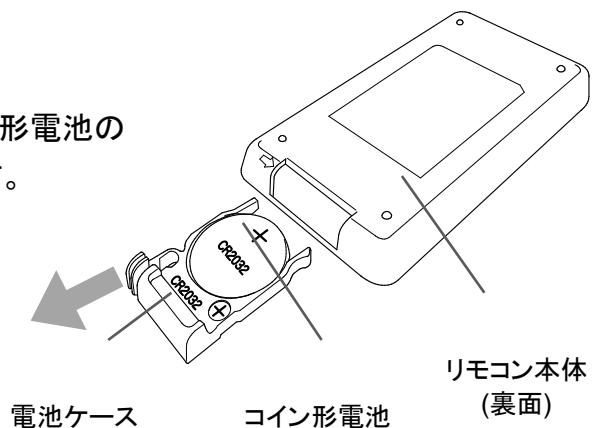
1. リモコンには電池と電池の消耗を防ぐための絶縁シートが入っております。ご使用前には矢印の方向に絶縁シートを引き抜いてください。



絶縁シート

電池の入れ替え方

1. 電池ケースを引き出します。
2. 古いコイン形電池を外し、新しいコイン形電池の+面を上にして電池ケースに入れます。
3. 電池ケースをリモコンに入れます。



- 付属のリモコンで使用する電池は、型名『CR2032』のコイン形電池をお買い求めください。

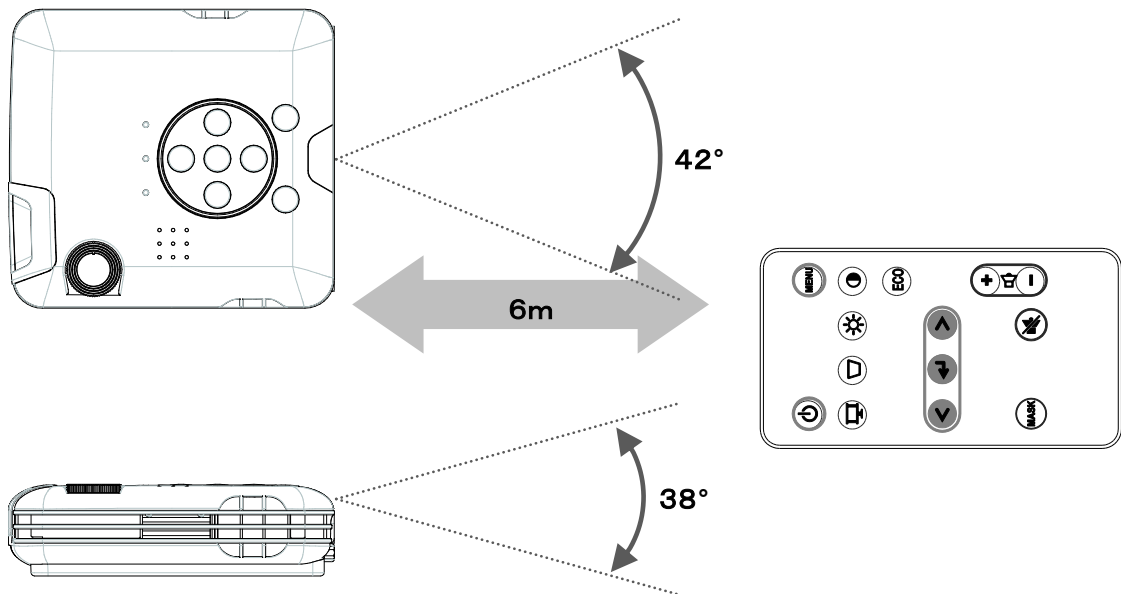
 **注意**

- 電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。
 - ・ 指定の電池以外は使用しない。
 - ・ 電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流す。
 - ・ 交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
 - ・ 長時間使用しないときは、電池を取り出す。
 - ・ 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込んだりしない。
 - ・ 極性(+、-)を正しく入れる。
 - ・ 電池を廃棄するときは、地域の回収ルールに従う。
- リモコンから取り外した電池は、小さなお子様の手の届くところに放置しないでください。
小さなお子様は電池を飲み込んだり、のどに詰まらせたりすることがあります。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本機背面の受光部に向けて操作してください。
次の有効範囲を目安にご使用ください。

有効範囲



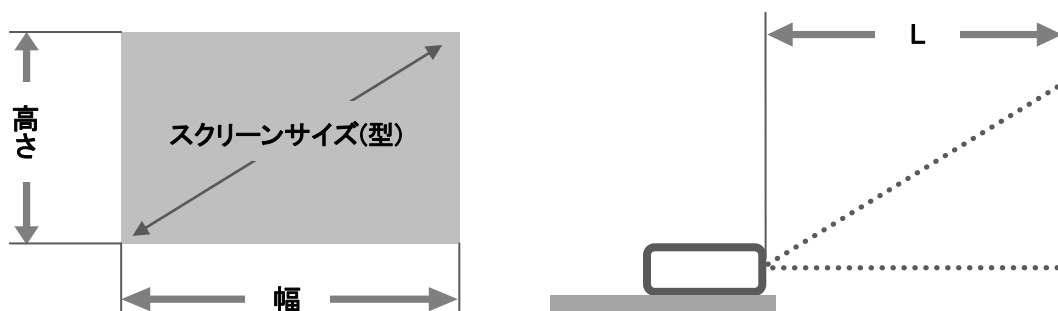
お知らせ

- リモコンとリモコン受光部との間に障害物を置かないでください。リモコンは赤外線で信号を送っており、リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると信号が届かなくなります。
- 直射日光などの強い光や至近距離からのインバータ蛍光灯の光がリモコン受光部に当たると、リモコン操作が正常にはたらかない場合があります。光源を本機から遠ざけてください。

設置する

画面サイズと投写距離

画面サイズは本機のレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。
 スクリーンは本機から48cm (スクリーンサイズ:25型) ~ 133cm (スクリーンサイズ68型) の範囲に設置してください。



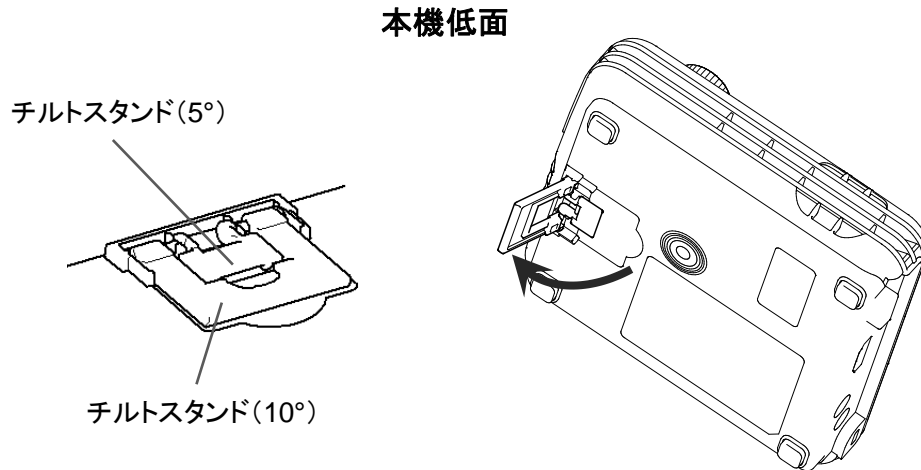
画面サイズと寸法			投写距離 L(cm)
型	幅(cm)	高さ(cm)	
25	53.8	33.7	48
30	64.6	40.4	58
35	75.4	48.0	68
40	86.1	53.8	78
45	96.9	60.6	88
50	107.7	67.3	98
55	118.5	74.0	108
60	129.2	80.8	118
65	140.0	87.5	128
68	146.5	91.5	133

お知らせ

- 投写距離と画面サイズは設計値のため誤差が生じることがあります。目安としてください。
- 本機のスクリーンサイズのアスペクト比は 16:10 です。異なるスクリーンサイズ(16:9、4:3 等)の入力信号のときは、上下または左右に投写されない箇所があり、上記の画面サイズよりも小さくなります。

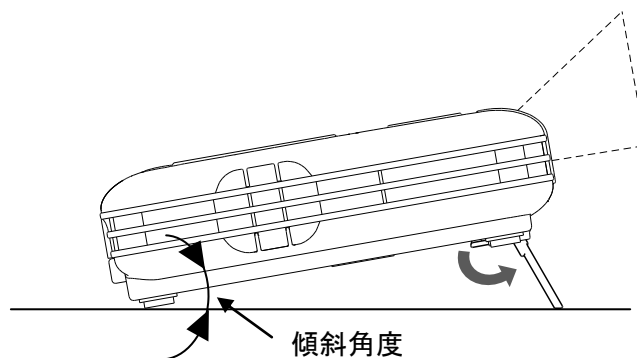
投写画面の位置を高くする

本機の底面にあるチルトスタンドを使用すると、投写画面の位置を高くすることができます。



1. チルトスタンドを使用する

チルトスタンドを立ち上げることにより、投写画面の位置を高くすることができます。チルトスタンドは2種類あり、プロジェクタの傾斜角度を5°と10°に設定できます。傾斜角度が大きくなるほど投写画面の位置は高くなります。



2. 投写画面の位置を戻す

チルトスタンドを倒すとプロジェクタは水平になり、投写画面の位置は戻ります。

お知らせ

- チルトスタンドを使用すると投写画面に台形歪みが発生します。台形歪みを補正する場合は、キーストン調整を行ってください。キーストン調整は「キーストン(台形歪み)を調整する」をご覧ください。→P.36、47

別売の本体カバーを使用する

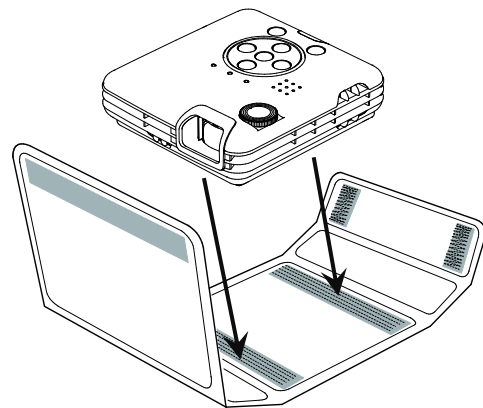
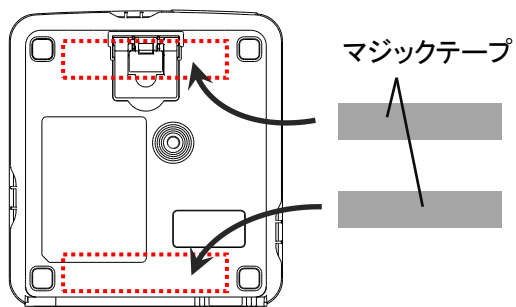
別売の本体カバーの取り付け方と使用方法です。

本体カバーは本機の保護と、チルト台としても使用することができます。

本体カバーの取り付け方

①本機の底面(下図の破線部)に、
本体カバー付属のマジックテープを貼り付

②本機を本体カバーにのせて完成です。
(マジックテープで固定します。)

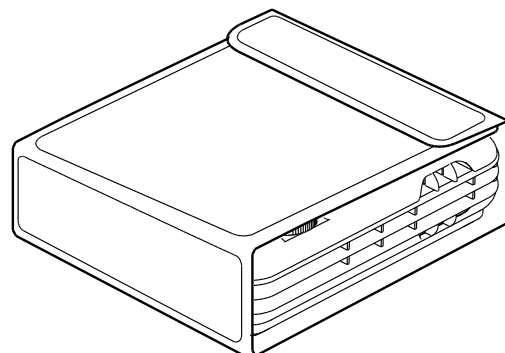
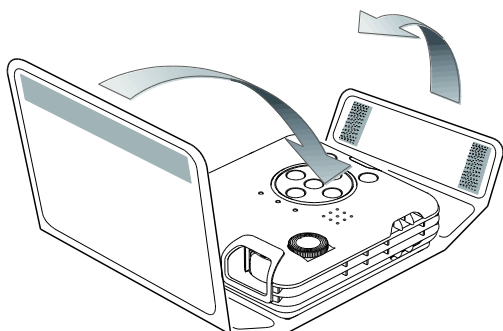


お知らせ

- マジックテープ貼り付け面にほこり、水、油分があるときは十分に固定できない場合があります。必ずほこり、水、油分を拭き取ってから行ってください。
- カバーを取り付けると本体のチルトスタンドは使用できなくなります。
チルトスタンドを使用される場合は、マジックテープをチルトスタンドに重ならない大きさにカットして貼りつけて下さい。
その場合、固定が弱くなるのでご注意ください。

本体カバーの使い方

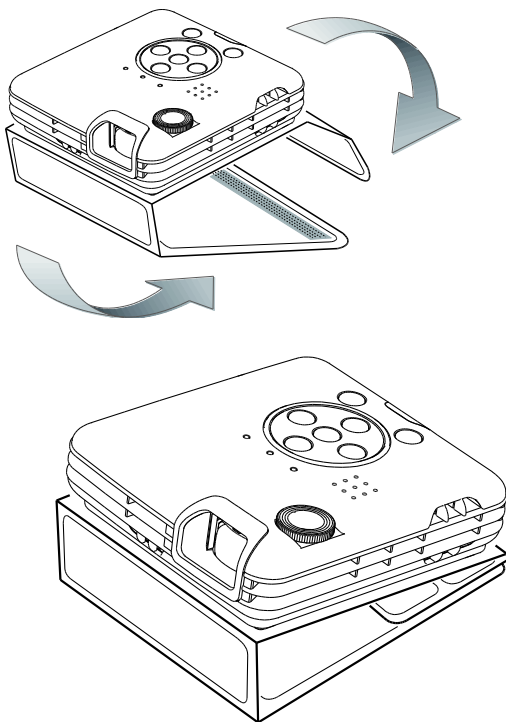
本機を包んで保護する



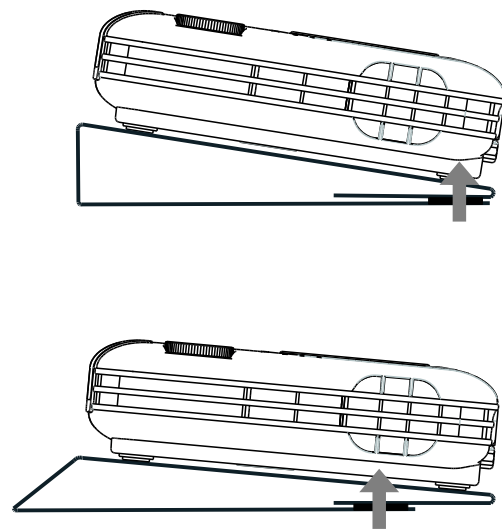
! **注意**

- 本体カバーを使用して持ち運ぶ際は、片手で本体カバーを掴んだ場合は、本機が本体カバーから落下し、故障する原因となる恐れがあります。必ず本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- 本体カバーを投写レンズにかぶせた状態で投写しないでください。本体カバーが高温となり、触ると熱でやけどやけがの原因となることがあります。
- 本機の電源を切ったあとは、本体がしばらくは高温となります。すぐに本体カバーで包むと故障の原因となりますので、本体の温度が十分に下がってから本体カバーで包んでください。

チルト台として使用する



◎マジックテープの止め位置で角度を調整



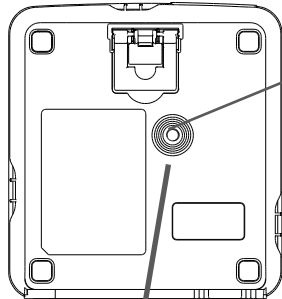
! **注意**

- チルト台として使用する際は、次のことを守り、安全にお使いください。
 - 投写レンズはランプの点灯中は強い光が投写されますので、目を傷める恐れがあります。特にお子様のご使用になる環境ではご注意ください。
 - 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近は高温になる場合があります、やけどの原因となります。

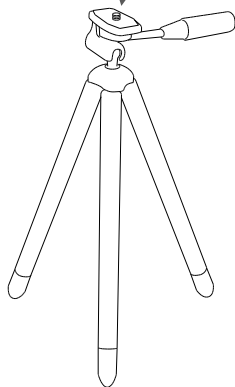
カメラ用三脚を使用する

本機底面には三脚用ねじ穴が装備されており、カメラ用三脚を使用することができます。

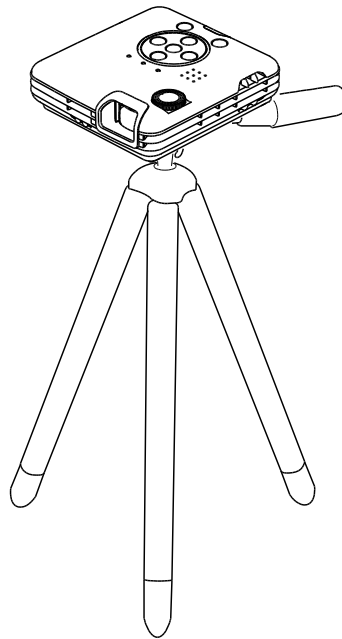
●本機底面



三脚取付け部



●三脚取付け状態



お知らせ


- 三脚の耐荷重は 500g 以上のものをご使用ください。
- 三脚の足をいっぱい広げ、エレベータ付き三脚の場合はエレベータを伸ばさずにご使用ください。

⚠ 注意

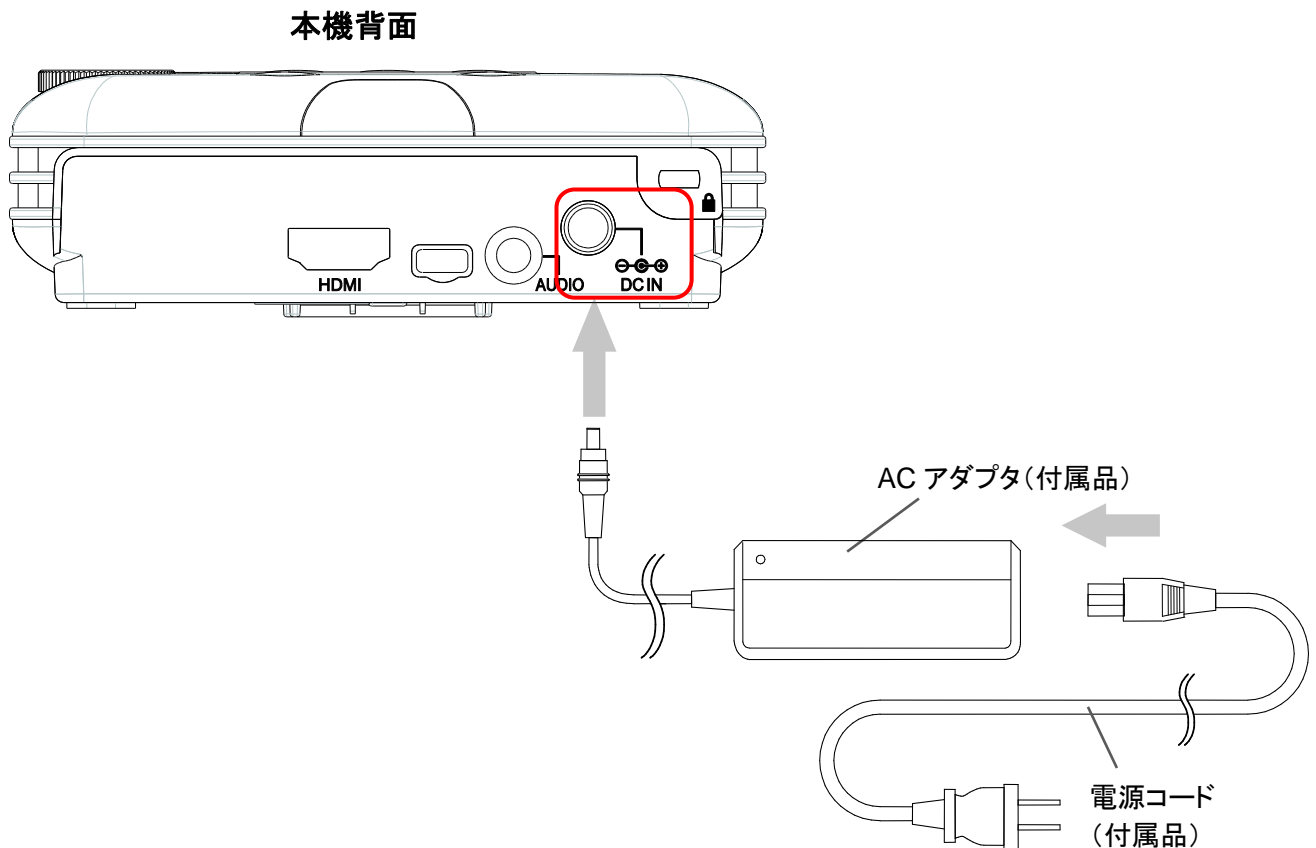
- 三脚の取扱上の注意事項は、三脚の取扱説明書をご覧ください。不安定な状態で使用すると転倒してけがの原因となります。
- コード類は正しく配置してください。電源コードや HDMI ケーブルなどは、足に引っかかると三脚が倒れ、本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続、配置してください。

接続する

電源(ACアダプタと電源コード) を接続する

付属の AC アダプタ、電源コードを接続し、本機の DC IN  にしっかりと差し込みます。

電源コードをコンセントにしっかりと差し込みます。



注意

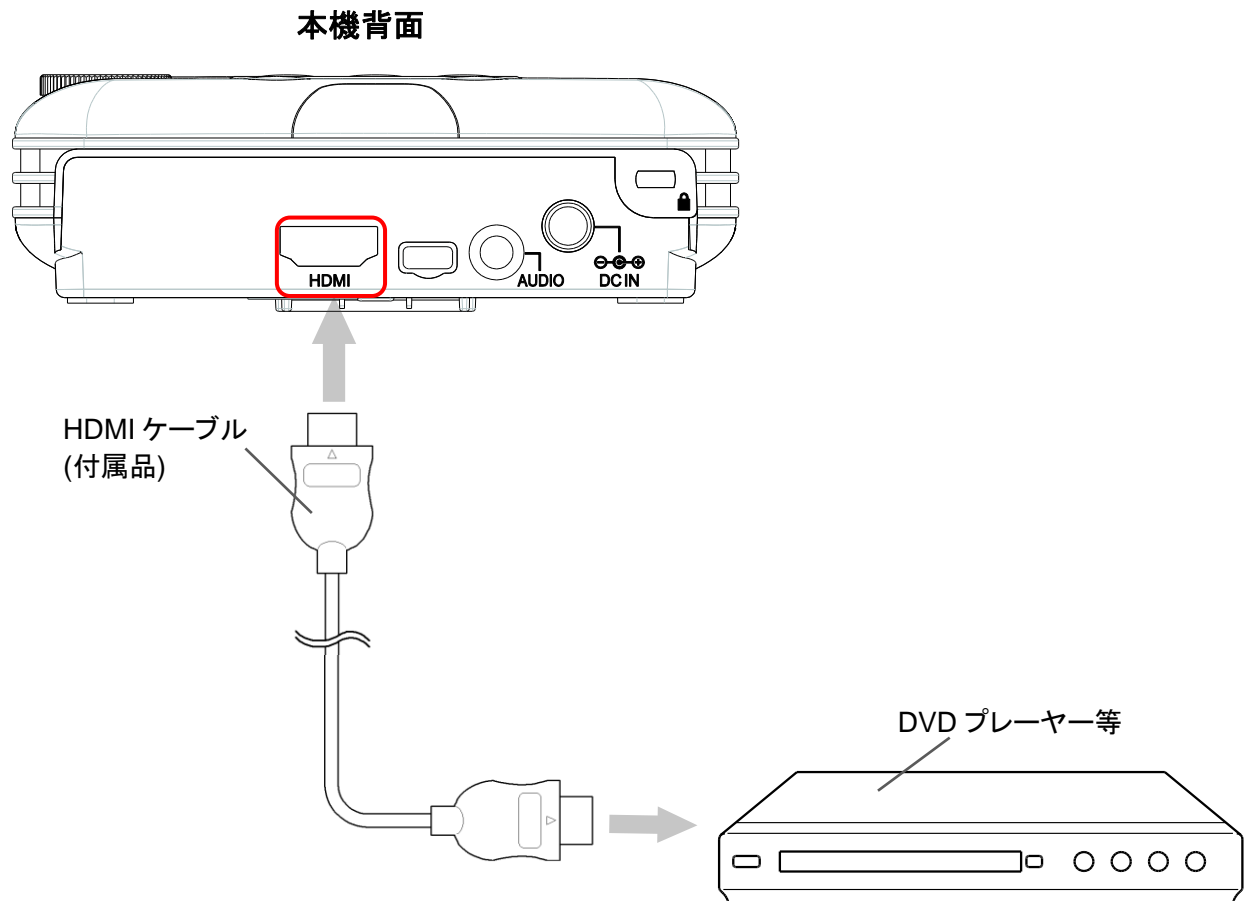
- 付属の AC アダプタ・電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。
- 付属の AC アダプタをカーペットや布団の上に置いたり、テーブルクロスや布などを上からかぶせたりしないでください。
内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。
- 付属の AC アダプタを一定時間使用すると、熱く感じられることがあります。
適切に使用されている場合には問題ありません。
ただし、長時間にわたり触れ続けないようにしてください。

HDMI 端子を使用した接続 - パソコンやビデオ機器など

1. HDMI ケーブルで本機とビデオ機器(DVD プレーヤー)を接続する

ビデオ機器やパソコン等の HDMI 端子と本機の HDMI 端子との接続は HDMI ケーブル(付属品)を使って下図のように行います。

端子にコネクタをしっかりと差し込みます。



⚠ 注意

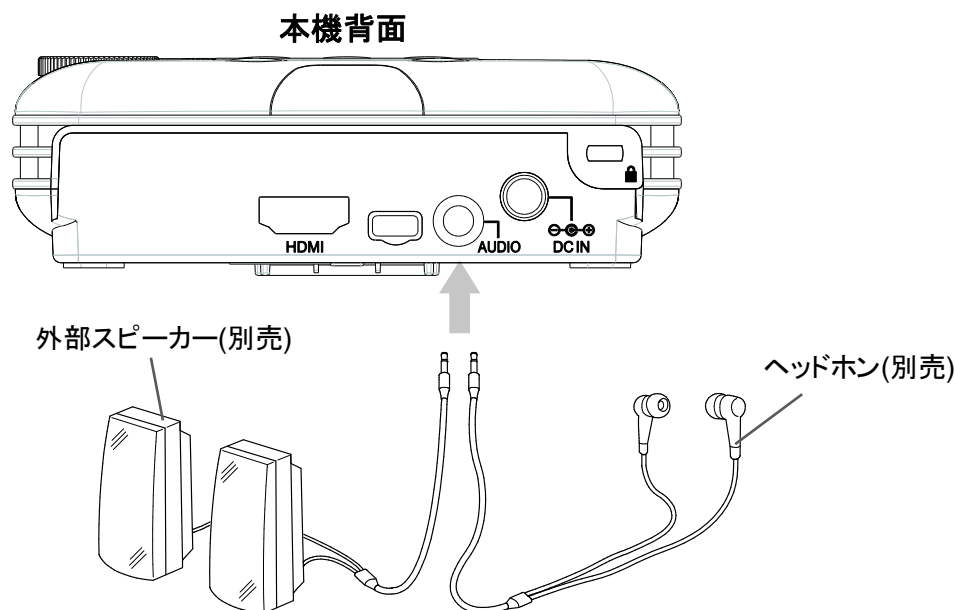
- HDMI ケーブルは HDMI ロゴの付いた HIGH SPEED ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に準拠していないケーブルは使用できません。
- 本機は HDMI 規格に準拠しておりますが、すべての出力機器との接続を保証するものではありません。
- HDMI に外部接続を接続した状態で無理な力を加えると損傷の原因になりますのでご注意ください。

AUDIO 端子から音声出力させる

1. ヘッドホンまたは外部スピーカーを本機に接続する

ヘッドホン(別売)または外部スピーカー(別売)のプラグを本機の AUDIO 端子にしっかりと差し込みます。

本体のスピーカー出力が停止して接続したヘッドホンまたは外部スピーカーから音声が出力されます。



お知らせ

- 接続する前に、ヘッドホンまたは外部スピーカーの取扱説明を必ずご確認ください。
- 外部スピーカーは音量を最小にしてから電源を入れてください。

2. ヘッドホンの音量を調整する

本体の AUDIO 端子にヘッドホンが接続した状態で、本体またはリモコンの MENU ボタンを押してメインメニューを表示させて、メニューから音量設定を選択すればヘッドホンの音量が調整できます。

「音量を調節する」→P.55

リモコンの音量ボタンでヘッドホンの音量が調整できます。

「音量を調節する(リモコン)」→P.38

 **注意**

- ヘッドホンを使用するときは、音量に注意してご使用ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げてください。
- ヘッドホンを接続した状態で無理な力を加えると損傷の原因になりますのでご注意ください。

2 基本の操作

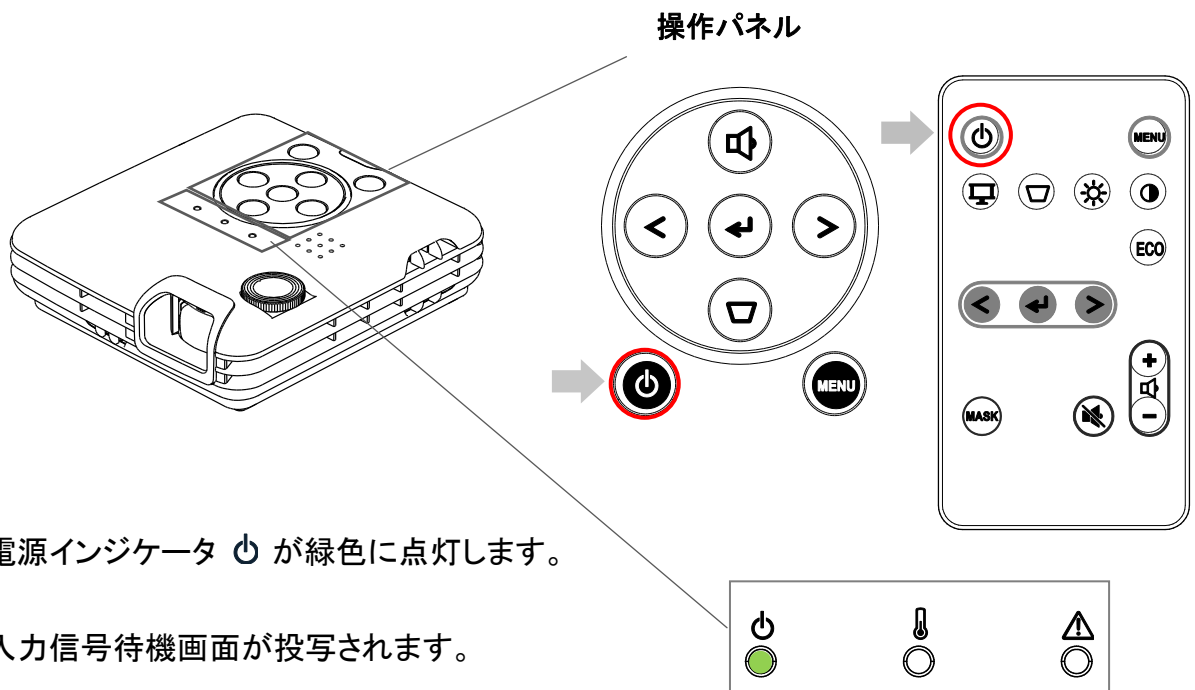
電源を入れる・切る

電源を入れる

1. 電源と必要な信号ケーブルを確認する

電源と必要な信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。


2. リモコンまたは操作パネルの ボタンを押す

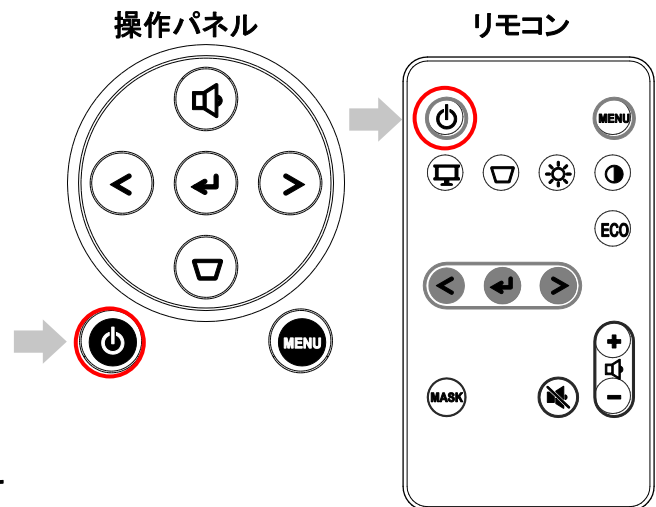



お知らせ

- 電源を入れてからリモコンまたは操作パネルでの操作が可能になるまで、しばらく時間がかかります。

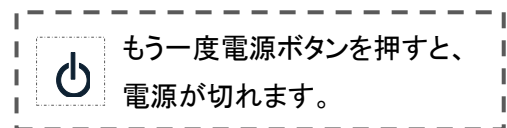
電源を切る

1. リモコンまたは操作パネルの  ボタンを押す

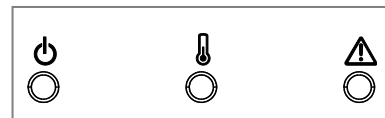


2. メッセージが出たら続けて  を押す

右の確認メッセージが表示されている間にもう一度リモコンもしくは操作パネルの電源ボタンを押すと電源が切れます。



電源インジケータ  が消灯します。



しばらくの間冷却ファンが回りますので、ファンが停止してからコンセントから電源プラグを抜いてください。



お知らせ

- 電源オフ確認メッセージは、表示してから5秒間操作が無い場合は消えます。

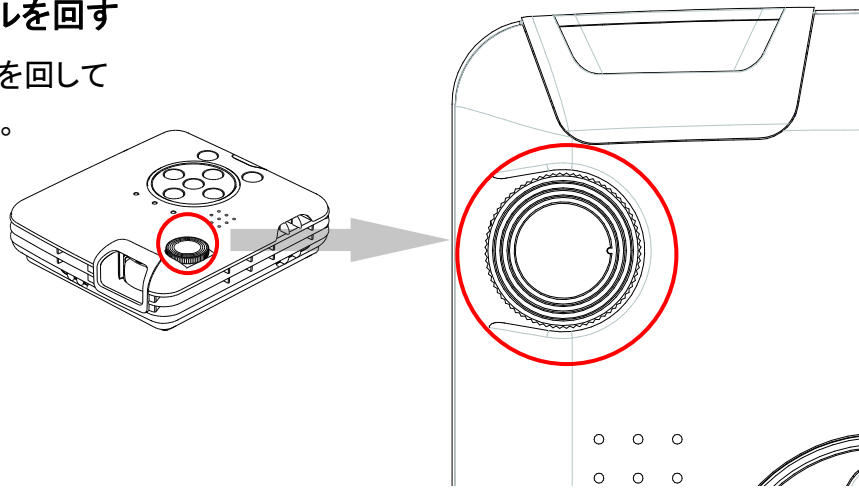
注意

- 本機の電源を切ったあとは、本体がしばらくは高温となります。すぐにケースなどに収納すると故障の原因となりますので、本機の温度が十分に下がってからケースなどに収納してください。

ピントを合わせる

1. フォーカスダイヤルを回す

フォーカスダイヤルを回して
ピントを合わせます。



お知らせ

- フォーカス調整の有効範囲は投写距離 48cm～133cm です。
- 画面サイズは「画面サイズと投写距離」→P.22 をご覧ください。
- 映像に細かい縞模様がある場合は、スクリーンとの干渉による場合があります。スクリーンを交換するか、フォーカスを少しずらしてみてください。

注意

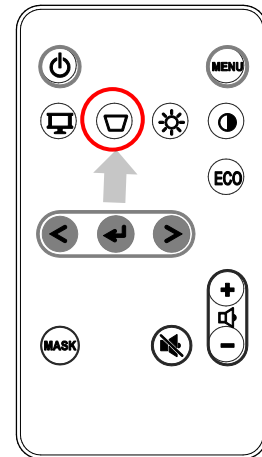
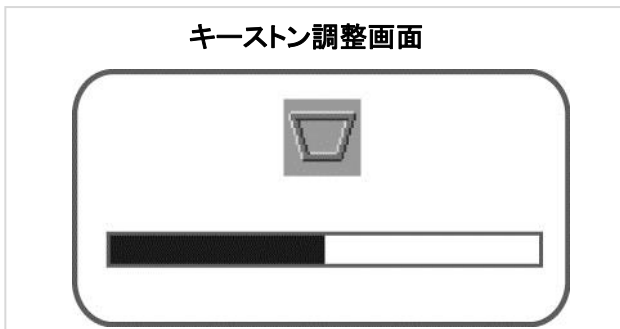
- 投写中のレンズは絶対にのぞかないでください。
ランプの点灯中は強い光が投写されていますので、目を傷めるおそれがあります。特にお子様のご使用環境ではご注意ください。
- レンズに直接手を触れないでください。
レンズ面に指紋や汚れがつくと、画像がぼやけることがあります。
もし汚れがあるときは、本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてから、市販のレンズクリーニングペーパーで拭いてください。
- 低温の場所から高温の場所に急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたときに本機のレンズなどに結露が生じ、画像がぼやけることがあります。周囲の温度に慣れるに従って結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

キーストン(台形歪み)を調整する

リモコンでキーストン(台形歪み)を調整する

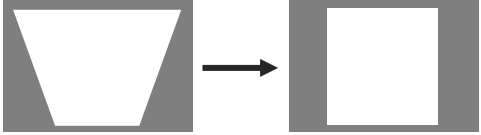

1. リモコンの  ボタンを押す

下のキーストン調整画面が表示されます。



2. リモコンの   ボタンを押す

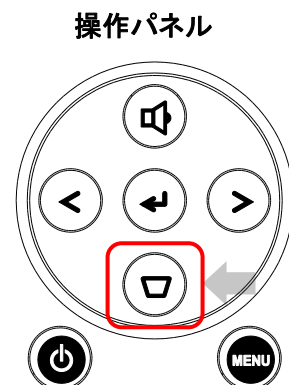
下記のように台形歪みを調整します。

<p>> ボタンを押す (投写角度が増加しているときに押す)</p>	
<p>< ボタンを押す (投写角度が減少しているときに押す)</p>	

本機でキーストン(台形歪み)を調整する

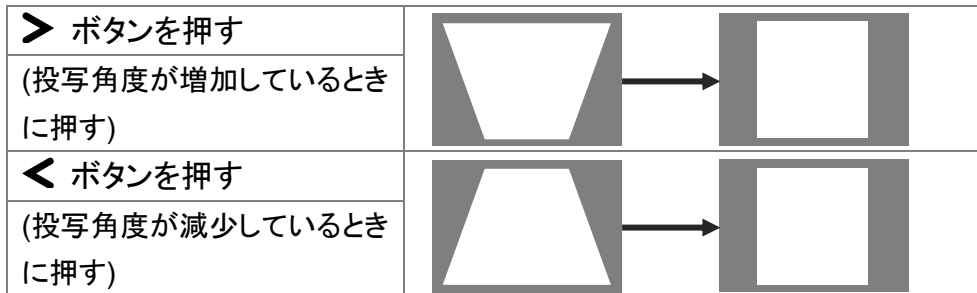
1. 操作パネルの  キーを押す

下のキーストン調整画面が表示されます。



2. 操作パネルの < > ボタンを押す

下記のように台形歪みを調整します。



お知らせ

- 本機操作とリモコンによるキーストン調整画面は、表示してから 3 秒間操作がない場合は自動的に消えます。
- 台形歪みを調整された画面は電氣的な補正を行っているため、画質が劣化する場合があります。
- 台形歪みの調整範囲は- 40° ~+ 40° です。
- リモコン、操作パネルより行う以外にメニューよりキーストン調整ができます。詳しくは「キーストン(台形歪み)を調整する」→P.47 をご覧ください。

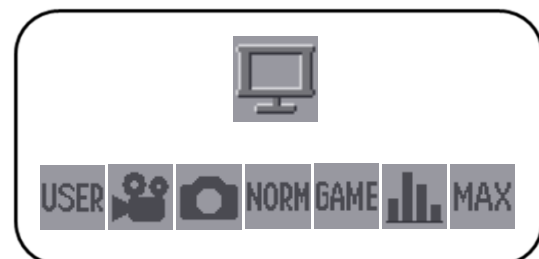
表示モードを選択する(リモコン)

リモコンで表示モードを選択する


1. リモコンの ボタンを押す

画面に表示モード選択メニューが表示されます。

表示モード選択メニュー



2. < > ボタンで操作する

< > ボタンで表示モードを選択し、 ボタンで選択を決定します。
ユーザーモード以外は画面が選択したモードで表示されます。
ユーザーモードは「ユーザーモードを設定する」→P.50 をご覧ください。




お知らせ

- リモコンによる表示モード選択メニューは、表示してから 3 秒間操作がない場合は自動的に消えます。
- リモコンより行う以外にメニューより表示モード選択ができます。詳しくは「表示モードを選択する」→P.48 をご覧ください。

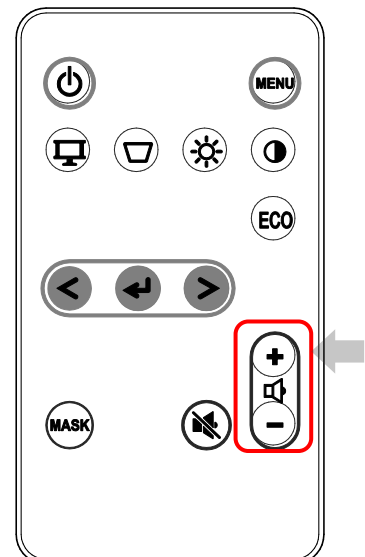
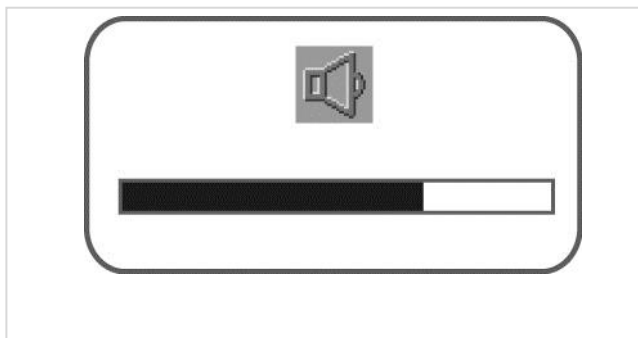
音量を調整する

リモコンで音量を調整する 音量を上げる


1. リモコンの  マークの+ボタンを押す

下の音量設定画面が表示され、
音量が上がります。

音量設定画面

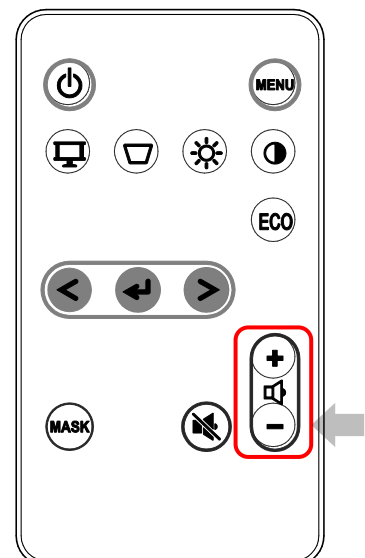
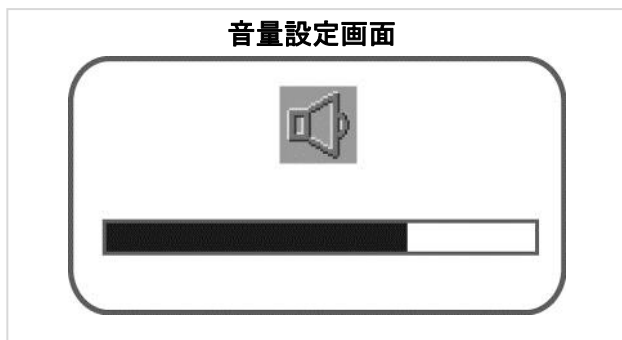


音量を下げる

1. リモコンの  マークの-ボタンを押す

下の音量設定画面が表示され、
音量が下がります。

音量設定画面



お知らせ

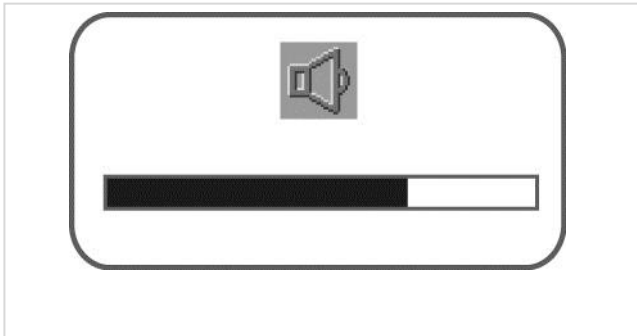
- リモコンによる音量設定画面は、表示してから3秒間操作がない場合は自動的に消えます。
- 音量設定はメニューより調整ができます。
詳しくは「音量を調節する」→P.55 をご覧ください。

本機で音量を調整する

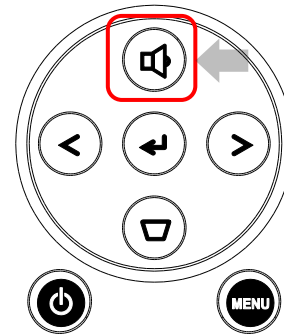
1. 操作パネルの を押す

下の音量設定画面が表示されます。

音量設定画面



操作パネル



2. 操作パネルの ボタンを押す

 ボタンを押すと音量が上がります。

 ボタンを押すと音量が下がります。




お知らせ



- 本機操作による音量設定画面は、表示してから 3 秒間操作がない場合は自動的に消えます。
- 音量設定はメニューより調整ができます。
詳しくは「音量を調節する」→P.55 をご覧ください。

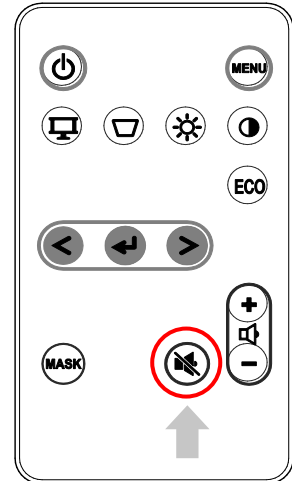
音声を消す

内蔵スピーカーの音声を一時的に消します。

1. リモコンの ボタンを押す

元に戻す場合はもう一度  ボタンを押します。

またはリモコンの  マークの+ボタンを押したときは、MUTE 前の音量に +1した音量に、
 マークの-ボタンを押したときは、MUTE 前の音量に-1した音量になります。

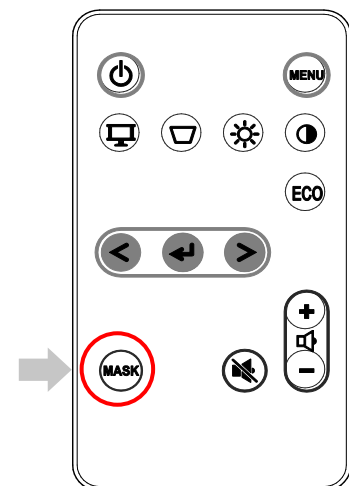


映像を隠す

投写されている映像を一時的に隠すblank画面機能を使用できます。

1. リモコンの MASK ボタンを押す

投写されている映像を隠すblank画面が表示されます。



元の映像を投写する場合は、もう一度 MASK ボタンを押します。

お知らせ

- リモコンの MASK ボタン以外の本機またはリモコンのボタンを押した場合もblank画面の表示を終了します。
- blank画面表示のときは、音量は消音(ミュート)されず、そのまま出力されます。
- blank画面の状態では信号を入力しても信号は認識されません。その場合、blank画面を消すと信号が認識されます。

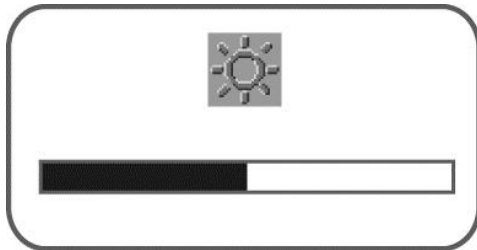
ブライツネスを調整する(リモコン)

リモコンでブライツネスを調整します。

1. リモコンの ☀️ ボタンを押す。

下のブライツネス調整画面が表示されます。

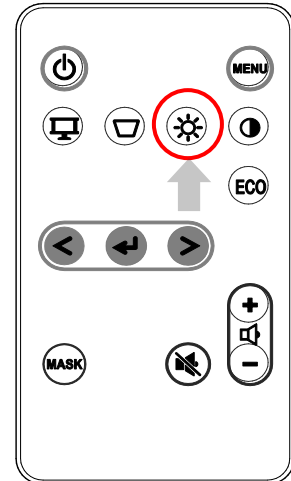
ブライツネス調整画面



◀ 暗く 明るく ▶

2. ◀ ▶ ボタンで操作する

◀ ▶ ボタンでブライツネスを調整します。



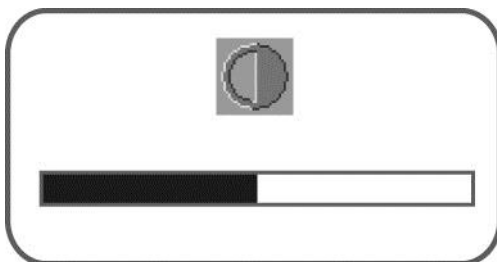
コントラストを調整する(リモコン)

リモコンでコントラストを調整します。

1. リモコンの 🎯 ボタンを押す。

下のコントラスト調整画面が表示されます。

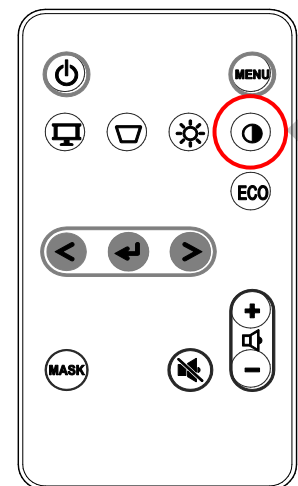
コントラスト調整画面



◀ 弱く 強く ▶

2. ◀ ▶ ボタンで操作する

◀ ▶ ボタンでコントラストを調整します。



👉 お知らせ

- リモコンによるブライツネスとコントラスト調整画面は、表示してから 3 秒間操作がない場合は自動的に消えます。
- 入力信号待機画面ではブライツネスとコントラストは設定できません。
- リモコン以外にメニューよりブライツネスとコントラストの調整ができます。
ブライツネスを調整する→P.53、コントラストを調整する→P.54

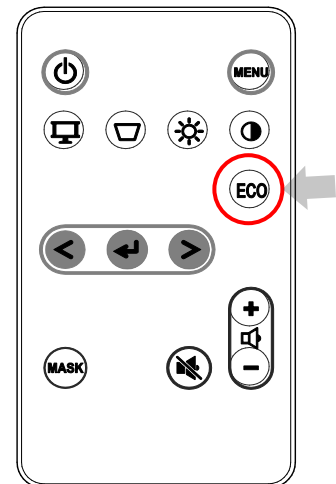
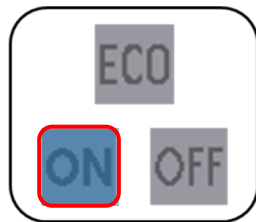
エコモードを設定する(リモコン)

リモコンでエコモードを設定します。

1. リモコンの ECO ボタンを押す

下の画面にエコモード設定画面が表示されます。

エコモード設定画面



2. <> ボタンで操作する

<> ボタンでエコモードを選択します。

選択項目	内容
ON	エコモードを設定します
OFF	エコモードを解除します。

← ボタンを押すと内容を決定します。

お知らせ

- リモコンによるエコ設定画面は、表示してから 3 秒間操作がない場合は自動的に消えます。
- リモコン以外にメニューよりエコモードの設定ができます。
エコモード設定→P.59

3 メニュー操作

本機で投写する映像の調整や各種設定をメニューから行うことができます。

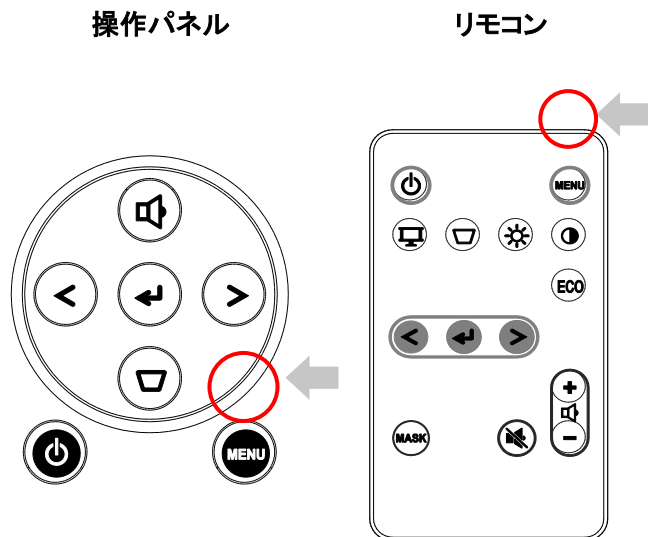
メニューの表示と基本操作

メインメニューを表示する

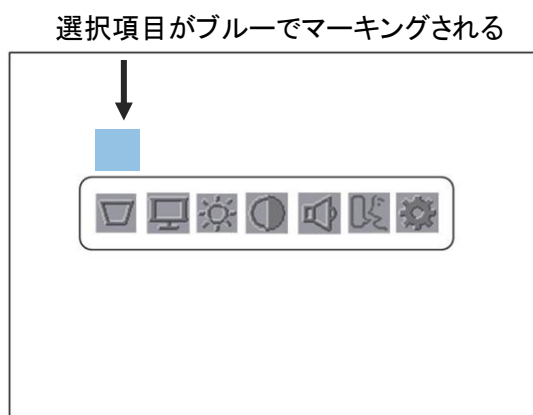
1. MENU ボタンを押す

リモコンまたは操作パネルの
MENU ボタンを押します。

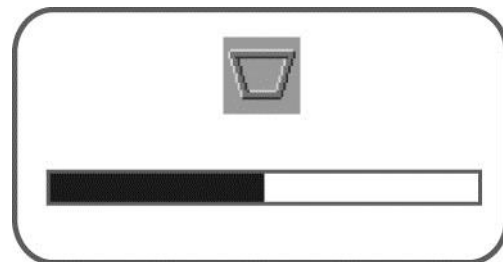
もう一度 **MENU** ボタンを押すと
メニューを閉じます。
また、30 秒間操作がない場合も
自動的にメニューを閉じます。



メニュー画面を操作する



サブメニュー



メニューでは、選択されている項目はブルーでマーキングされます。

ブルーでマーキングされた項目を展開するとサブメニューが表示され、詳細な設定を
することができます。

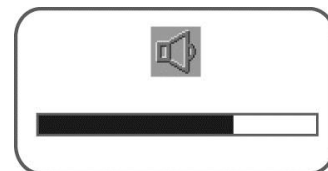
非選択項目は
ダークグレーで
マーキングされます →

選択できない項目はダークグレーで表示されます。



◀ ボタン	選択したアイコンについての設定をします
🔊 ボタン	音量調整画面が表示されます
▭ ボタン	キーストン調整画面が表示されます
◀ ボタン	選択項目を左に移動します ステータスバー* の設定値を調整します
▶ ボタン	選択項目を右に移動します ステータスバーの設定値を調整します
MENU ボタン	設定内容を決定せず前のメニューに戻ります メインメニュー表示時はメインメニューを閉じます

*ステータスバー: 音量など設定値を調整する場合に表示される調整画面



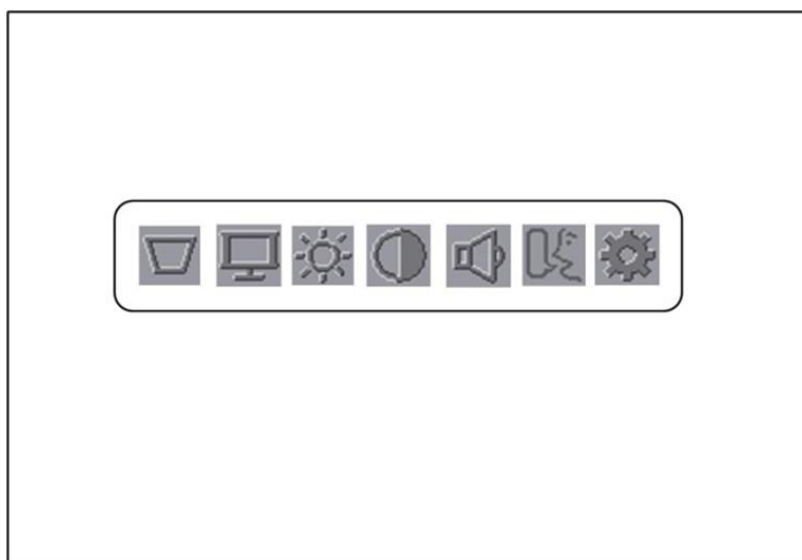
お知らせ

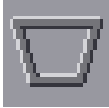



- ステータスバーは、◀ ▶ ボタンで操作した設定値は、MENU ボタンを押しても操作前の設定値に戻すことはできません。
また、表示してから 30 秒間操作がない場合はメニューを自動的に閉じます。
表示する場合は再度 MENU ボタンを押してください。
- 本体のキーストン/ボリューム、リモコンの表示モード/キーストン/ブライトネス/コントラスト/エコ/ボリュームによる設定画面は、表示してから 3 秒間操作がない場合は自動的に閉じます。




メインメニュー

メインメニューでは「キーストン調整」「表示モード選択」「ブライトネス調整」「コントラスト調整」「音量設定」「言語」「詳細設定」の7種類の設定を選択することができます。それぞれのアイコンを選択するとサブメニューが表示されます。

メインメニューの表示については「メインメニューを表示する」→P.43 をご覧ください。



アイコン	名称	選択設定	説明
	キーストン調整 (台形補正) →P.47	- 40 ~ + 40 出荷設定:0	台形に歪んだ画面を補正します。 タテ補正を 1°単位で調整できます。
	表示モード選択 →P.48	ユーザー シネマ フォト 標準 出荷設定 ゲーム プレゼンテーション 明るさ(最大)	ご利用シーンに適したモードを設定できます。
	ブライトネス調整 →P.53	1 ~ 100 出荷設定:50	映像の明るさを調整します。 1 単位ずつ調整できます。
	コントラスト調整 →P.54	1 ~ 100 出荷設定:50	コントラスト(明暗の対比)を調整します。 1 単位ずつ調整できます。

アイコン	名 称	選択設定	説 明
	音量設定 →P.55	1 ~ 10 出荷設定:7	音量を調整します。 1 単位ずつ調整できます。
	言語 →P.56	English Français Deutsch español italiano svenska Nederlands Português Русский 日本語 簡体中文	メニューおよびメッセージで表示する言語を設定します。
	詳細設定 →P.57	下記詳細項目の設定ができます。 ・ エコモード 出荷設定:OFF ・ アスペクト比 出荷設定:オート(固定) ・ 自動電源オフ 出荷設定:180 ・ 投写モード 出荷設定:フロント ・ 設置モード 出荷設定:デスクトップ ・ CEC モード 出荷設定:OFF ・ 工場出荷設定	


お知らせ

- 30 秒間操作がない、または再度 **MENU** ボタンを押した場合はメインメニューを閉じます。

キーストン(台形歪み)を調整する

1. メインメニューを表示する

「メインメニューを表示する」→P.43

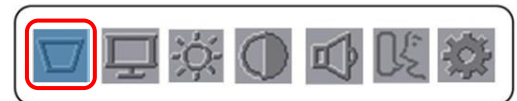
リモコンまたは操作パネルの **MENU** ボタンを押します。

メインメニューが表示されます。

2. アイコンを選択する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで
キーストン調整アイコンを選択し、**↵** ボタン
で選択を決定します。

メインメニュー



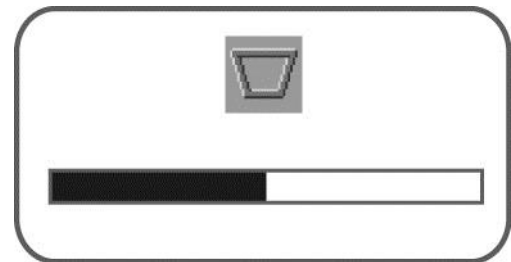
画面にキーストン調整画面が表示されます。

3. **< >** ボタンで操作する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンを
操作して調整します。

↵ ボタンを押すと内容を決定し、メイン
メニューに戻ります。

キーストン調整画面



リモコンまたは操作パネル	
> ボタンを押す (投写角度が増加しているときに押す)	
< ボタンを押す (投写角度が減少しているときに押す)	

お知らせ

- 台形歪みを調整された画面は電氣的な補正を行っているため、画質が劣化
する場合があります。
- 台形歪みの調整範囲は- 40° ~ + 40° です。

表示モードを選択する


1. メインメニューを表示する

「メインメニューを表示する」→P.43

リモコンまたは操作パネルの **MENU** ボタンを押します。

メインメニューが表示されます。

2. アイコンを選択する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで  を選択して、**<** ボタンで選択を決定します。

画面に表示モード選択メニューが表示されます。

3. 表示モードを選択する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで表示モードを選択して、**<** ボタンで選択を決定します。

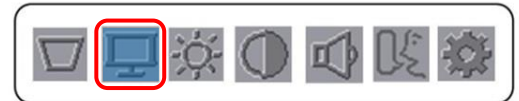
画面が選択したモードで表示されます。

MENU ボタンを押すとメインメニューに戻り、もう一度 **MENU** ボタンを押すとメインメニューが消えます。

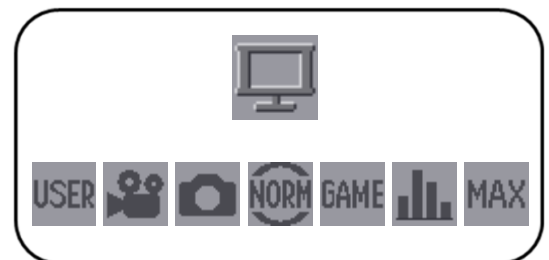
ユーザーモードは「ユーザーモードを設定する」→P. 50 をご覧ください。

キャンセルする場合は **MENU** ボタンを押します。








メインメニュー



表示モード選択メニュー



表示モードは以下の 7 種類から選ぶことができます。



アイコン	モード名	説明
	ユーザー	映像を好みに設定することができるモードです。(→P. 50)
	シネマ	フィルム映像などの古い映画を落ち着いて鑑賞するのに適したモードです。
	フォト	写真等の静止画を投写する場合に適した色再現性に優れたモードです。
	標準 <small>出荷設定</small>	色合いや明るさなど映像が平均的な本機の標準モードです。
	ゲーム	コンピューターグラフィックで作成されたゲームやアニメーションなどの映像を投写するのに適したモードです。
	プレゼンテーション	PC のグラフやカタログなどの資料を鮮やかに表示させるのに適した発色性に優れたモードです。
	明るさ(最大)	映像を明るく表示したい場合に適したモードです。

 **お知らせ**

- 明るさモードでは実際の色と異なる場合があります。色の再現性が必要な場合はフォトモードをご使用ください。

ユーザーモードを設定する

ユーザーモードは色温度、色域、ガンマの値に設定して、映像を好みに設定することができます。

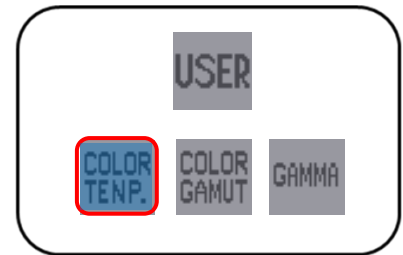
アイコン	モード名	説明	アイコン
	色温度	Lo: 5,000K Mid: 6,000K Hi: 9,300K	色温度は低いと暖色になり、高いと寒色になります。
	色域	Std : sRGB Windows 環境における標準色域 Wide : AdobeRGB G 領域が広く鮮やかな緑色を表現できる色域	色域は認識できる色の範囲をsRGBとAdobeRGBに設定できます。
	ガンマ	Gamma 値 γ=1.9, γ=2.2, γ=2.4	ガンマは中間諧調(グレー)の明るさの設定で、値が小さいほど明るくなります。

1. ユーザーモードを選択する

表示モード選択メニューからリモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンでメニューから **USER** を選択して、**↵** ボタンで選択を決定します。

ユーザー設定メニューが表示されます。

ユーザー設定メニュー



2. 色温度を設定する

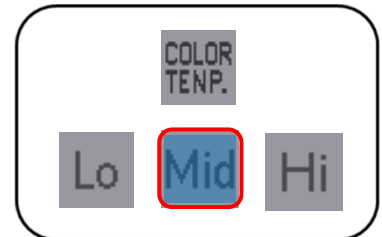
リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンでメニューから **COLOR TEMP.** を選択して、**↵** ボタンで選択を決定すると、色温度設定画面が表示されます。

< > ボタンで好みの設定値を選択して、**↵** ボタンで選択を決定すると色温度が設定されます。

MENU ボタンを押すとユーザー設定メニューに戻ります。

Lo: 5,000K、Mid: 6,500K、Hi: 9,300K

色温度設定画面



3. 色域を設定する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンでメニューから **COLOR GAMUT** を選択して、**↵** ボタンで選択を決定すると、色域設定画面が表示されます。

< > ボタンで好みの設定値を選択して、**↵** ボタンで選択を決定すると色域が設定されます。

MENU ボタンを押すとユーザー設定メニューに戻ります。

Std: sRGB 相当、Wide: Adobe RGB 相当

色域設定画面



4. ガンマを調整する

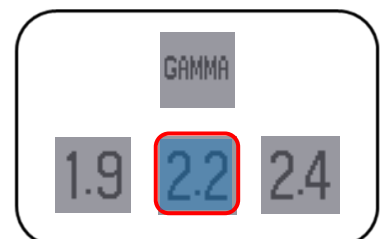
リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンでメニューから **GAMMA** を選択して、**↵** ボタンで選択を決定すると、ガンマ設定画面が表示されます。

< > ボタンで好みの設定値を選択して、**↵** ボタンで選択を決定するとガンマ値が設定されます。

MENU ボタンを押すとユーザー設定メニューに戻ります。

ガンマ値: $\gamma=1.9$ 、 $\gamma=2.2$ 、 $\gamma=2.4$

ガンマ設定画面

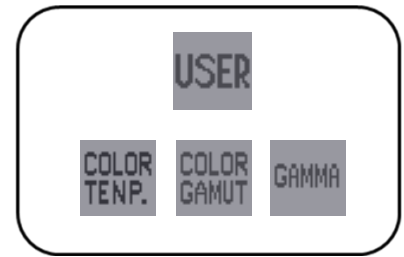


5. メニューを消す

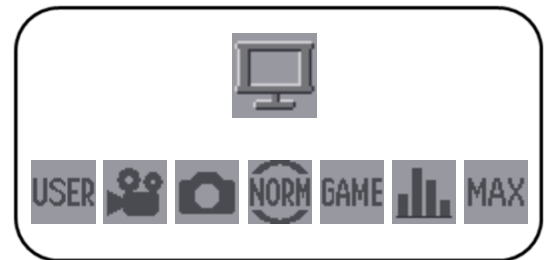
ユーザー設定メニューで各設定が終わったらリモコンまたは操作パネルの **MENU** ボタンを押すと表示モード選択メニューに戻ります。

表示モード選択メニューで **MENU** ボタンを押すとメインメニューに戻り、もう一度 **MENU** ボタンを押すとメニューが消えます。

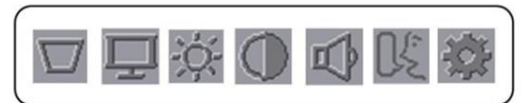
ユーザー設定メニュー



表示モード選択メニュー



メインメニュー



メニューを閉じる

お知らせ

- 表示モードは入力された映像に対して有効です。設定時は映像を入力してご使用ください。映像が入力されないと設定が確認できません。
- メニューを表示してから 30 秒間操作がない場合はメニューを自動的に閉じます。


ブライツネスを調整する

1. メインメニューを表示する 「メインメニューを表示する」→P.43

リモコンまたは操作パネルの **MENU** ボタンを押します。

メインメニューが表示されます。

2. アイコンを選択する

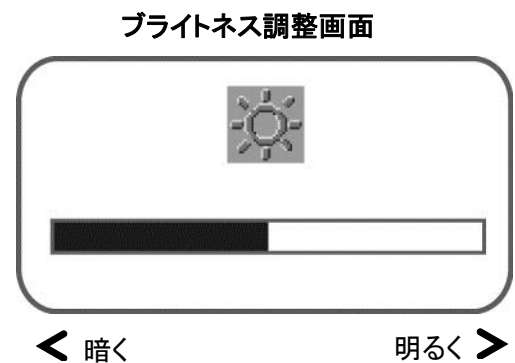
リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンでメニューから  アイコンを選択し、**←** ボタンで選択を決定するとブライツネス調整画面が表示されます。



3. **< >** ボタンで操作する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンでブライツネスを調整します。

← ボタンを押すと内容を決定し、メインメニューに戻ります。



お知らせ

- 入力信号待機画面ではブライツネスは設定できません。


コントラストを調整する

1. **メインメニューを表示する** 「メインメニューを表示する」→P.43
リモコンまたは操作パネルの **MENU** ボタンを押します。

メインメニューが表示されます。

エラー! ブックマークが定義されていません。

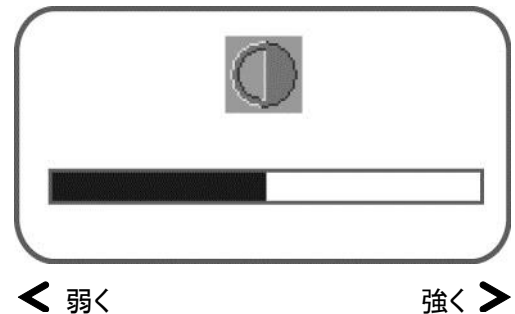
2.  **アイコンを選択する**

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンでメニューから  アイコンを選択し、**↵** ボタンで選択を決定するとコントラスト調整画面が表示されます。

メインメニュー




コントラスト調整画面



3. **< > ボタンで操作する**

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンでコントラストを調整します。

↵ ボタンを押すと内容を決定し、メインメニューに戻ります。

 **お知らせ**

- 入力信号待機画面ではコントラストは設定できません。

音量を調整する

音量設定

1. **メインメニューを表示する** 「メインメニューを表示する」→P.43

リモコンまたは操作パネルの **MENU** ボタンを押します。

メインメニューが表示されます。

2.  **アイコンを選択する**

リモコンまたは操作パネルの **<>** ボタンで音量設定アイコンを選択し、**←** ボタンで選択を決定します。



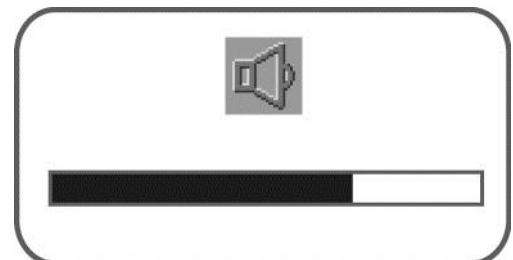
画面に音量設定画面が表示されます。

3. **<>** ボタンで操作する

リモコンまたは操作パネルの **<>** ボタンで音量を調整します。

← ボタンを押すと内容を決定し、メインメニューに戻ります。

音量設定画面



< 小さく

大きく **>**

音声を消す(MUTE)

MUTE はリモコンの **MUTE** より行うことができます。「音声を消す」→P.40

言語を設定する

メニューに表示される言語を設定します。

1. メインメニューを表示する 「メインメニューを表示する」→P.43

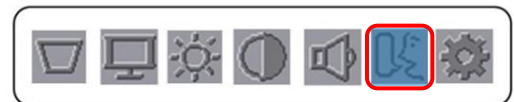
リモコンまたは操作パネルの **MENU** ボタンを押します。

メインメニューが表示されます。

2. アイコンを選択する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで言語アイコンを選択し、**←** ボタンで選択を決定します。

メインメニュー



言語メニューが表示されます。

3. **< >** ボタンで操作する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで言語を選択します。

言語メニュー



← ボタンを押すと内容を決定し、メインメニューに戻ります。

MENU ボタンを押すと、設定をキャンセルします。

言語は以下から選ぶことができます。

言語	English (英語)	Français (フランス語)
	Deutsch (ドイツ語)	Español (スペイン語)
	Italiano (イタリア語)	Svenska (スウェーデン語)
	Nederlands (オランダ語)	Português (ポルトガル語)
	Русский (ロシア語)	日本語
	简体中文 (中国語)	

詳細設定

「エコモード設定」「アスペクト比設定」「自動電源オフ設定」「投写モード設定」「設置モード設定」「CECモード設定」「工場出荷時設定」を行います。

この画面で各種情報を確認できます。→P.58「各種情報を確認する」

詳細設定を表示する

1. **メインメニューを表示する** 「メインメニューを表示する」→P.43

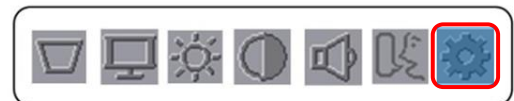
リモコンまたは操作パネルの **MENU** ボタンを押します。

メインメニューが表示されます。

2.  **アイコンを選択する**

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで
詳細設定アイコンを選択し、**←** ボタンで
選択を決定します。

メインメニュー



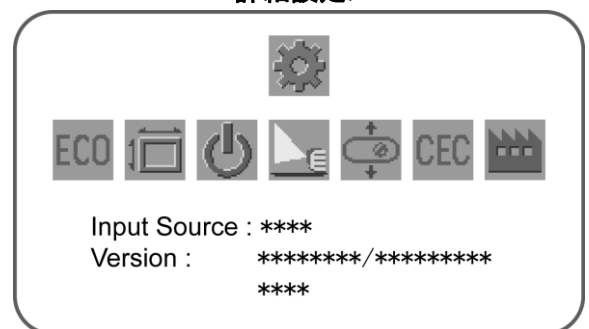
詳細設定メニューが表示されます。

3. **< > ボタンで操作する**








リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで
設定したい項目を選択します。

← ボタンを押すと選択した項目の設定
メニューが表示されます。

詳細設定メニュー



メインメニューに戻る場合は、**MENU** ボタンを
押します。

アイコン	設定名称	選択肢	説明
	エコモード設定 →P.59	ON	エコモードの設定をします。 エコモード使用中は、投写中の LED が暗くなり、ファン回転音が低下します。
		OFF 出荷設定	
	アスペクト比設定 →P.60	オート 出荷設定	入力信号の縦横比を設定します。
		4:3	
		16:9	
	自動電源オフ設定 →P.61	オフ	本機を一定時間操作しないときに、自動的に電源を切ります。
		1 ~ 180 出荷設定 180	
	投写モード設定 →P.62	フロント 出荷設定	本機の画像をスクリーンにフロント(前面)から投写するか、リア(背面)から投写するかを設定します。
		リア	
	設置モード設定 →P.63	デスクトップ 出荷設定	本機の取り付け方法を設定します。
		天吊り	
		NO	
	CEC モード設定 →P.64	ON	CEC モードの設定をします。 CEC 対応機器と接続した場合、CEC モードを ON にすると CEC 対応機器と電源起動が連携して動作します。
		OFF 出荷設定	
	工場出荷設定 →P.65	YES	各種設定を工場出荷状態に戻します。

各種情報を確認する

1. 詳細設定メニューを表示する

詳細設定メニューで下記の情報の確認ができます。



各種設定情報	内容
Input Source	本機の現在の入力信号を表示します。
Version	本機のバージョンを表示します。

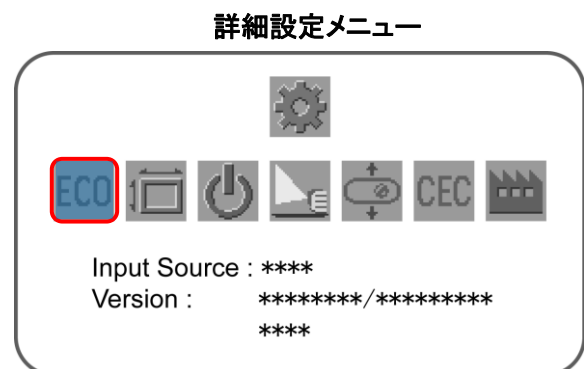
エコモードを設定する

1. 詳細設定メニューを表示する

2. アイコンを選択する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンでエコモード設定アイコンを選択し、**←** ボタンで選択を決定します。

エコモード設定メニューが表示されます。



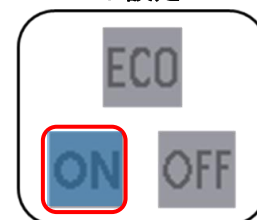
3. **< >** ボタンで操作する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで選択します。

選択項目	内容
ON	エコモードを設定します
OFF	エコモードを解除します。 出荷設定


← ボタンを押すと内容を決定し、詳細設定メニューに戻ります。

エコモード設定メニュー

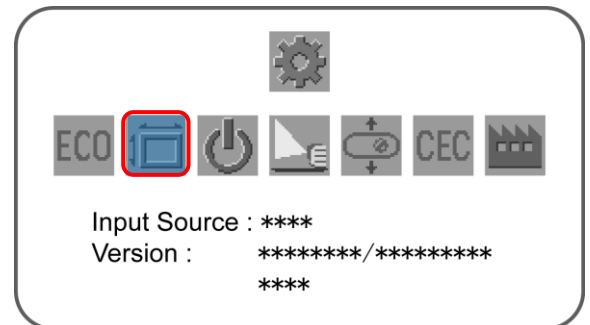


アスペクト比設定をする

1. 詳細設定メニューを表示する

2.  アイコンを選択する
リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで表示設定アイコンを選択し、**↵** ボタンで選択を決定します。




詳細設定メニュー



アスペクト比設定メニューが表示されます。

3. **< >** ボタンで操作する

アスペクト比は下記 3 種類から選択できます。

アイコン	内容
	入力信号のアスペクト比をそのまま投写します。 出荷設定
	入力信号を 4:3 の比率で投写します。
	入力信号を 16:9 の比率で投写します。

アスペクト比設定メニュー



リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで選択します。

↵ ボタンを押すと内容を決定し、詳細設定メニューに戻ります。

お知らせ

- 4:3 および 16:9 のアスペクト比を選択された場合は、本機に設定保存はされません。電源を再起動時にはアスペクト比の設定は AUTO に戻ります。

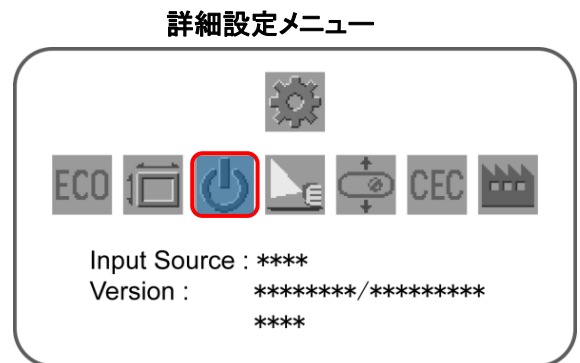
自動電源オフを設定する

1. 詳細設定メニューを表示する

2. アイコンを選択する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで自動電源オフアイコンを選択し、**↵** ボタンで選択を決定します。

自動電源オフ設定メニューが表示されます。



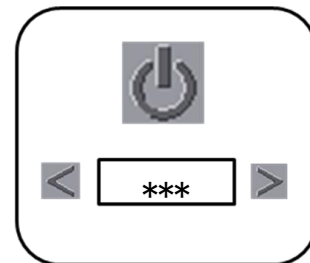
3. **< >** ボタンで操作する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで選択します。

自動電源オフは下記時間で設定できます。

設定 時間	オフ (自動電源オフ機能無効)
	1 分
	3 分
	5 分
	10 分
	20 分
	30 分
	60 分
	120 分
	180 分 出荷設定

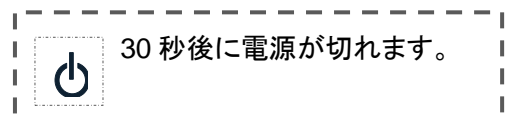
自動電源オフ設定メニュー



↵ ボタンを押すと内容を決定し、詳細設定メニューに戻ります。

自動電源オフ機能が設定されているときは、本機を設定時間において、操作パネルまたはリモコンより操作されない場合に自動的に電源が切れます。

電源が切れる 30 秒前になると投写画面にメッセージが表示されます。



投写モードを設定する

1. 詳細設定メニューを表示する

2. アイコンを選択する



リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで投写モード設定アイコンを選択し、**↵** ボタンで選択を決定します。

投写モード設定メニューが表示されます。

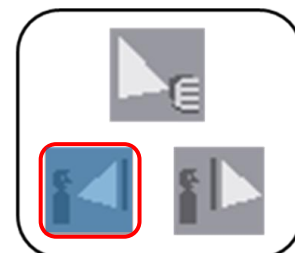


3. **< >** ボタンで操作する

投写モードは「フロント」「リア」の2種類の設定ができます。

アイコン	投写モード名	説明
	フロント	正面からの投写に対応します。 <u>出荷設定</u>
	リア	スクリーンの後ろからの投写に対応します。

投写モード設定メニュー



リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで選択します。

↵ ボタンを押すと内容を決定し、詳細設定メニューに戻ります。

設置モードを設定する

1. 詳細設定メニューを表示する

2. アイコンを選択する



リモコンまたは操作パネルの **<>** ボタンで設置モード設定アイコンを選択し、**←** ボタンで選択を決定します。

設置モード設定メニューが表示されます。

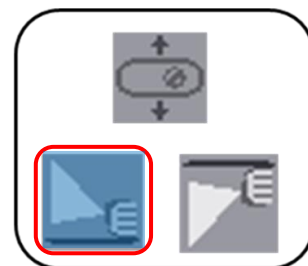


3. **<>** ボタンで操作する

設置モードは「デスクトップ」「天吊り」の2種類の設定ができます。

アイコン	設置モード名	説明
	デスクトップ	通常の設置に対応します。 出荷設定
	天吊り	本機を天井に吊った状態での投写に対応します。

設置モード設定メニュー



リモコンまたは操作パネルの **<>** ボタンで選択します。

← ボタンを押すと内容を決定し、詳細設定メニューに戻ります。

注意

- 落下・転倒防止のため、安定した台、机、テーブルの上で使用し、決してぐらついた台の上や傾いていたところなど、不安定な場所に置かないでください。
- 天井取り付け(天吊り)などの設置工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われていないと、落下によりけがや事故の原因となります。専門の技術者または販売店にご依頼ください。

CEC モードを設定する

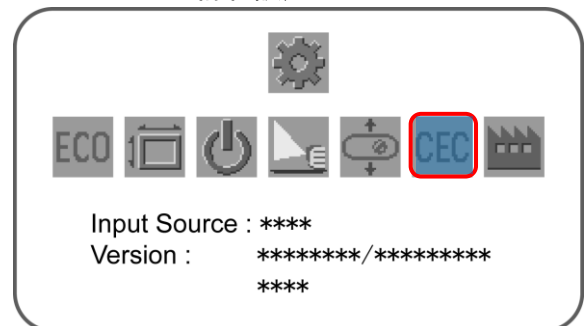
1. 詳細設定メニューを表示する

2. **CEC** アイコンを選択する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで CEC モード設定アイコンを選択し、**←** ボタンで選択を決定します。

CEC モード設定メニューが表示されます。

詳細設定メニュー



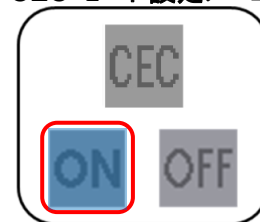
3. **< >** ボタンで操作する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで選択します。

選択項目	内容
ON	CEC モードを設定します
OFF	CEC モードを解除します。 出荷設定

← ボタンを押すと内容を決定し、詳細設定メニューに戻ります。

CEC モード設定メニュー



お知らせ

- CEC モードを設定すると接続した CEC 対応の HDMI 機器と連動して動作させることができます。
CEC モードを ON にして、接続された CEC 対応の HDMI 機器を再生するとプロジェクタの電源が ON になり、プロジェクタの電源を OFF にすると HDMI 機器の電源が OFF になります。

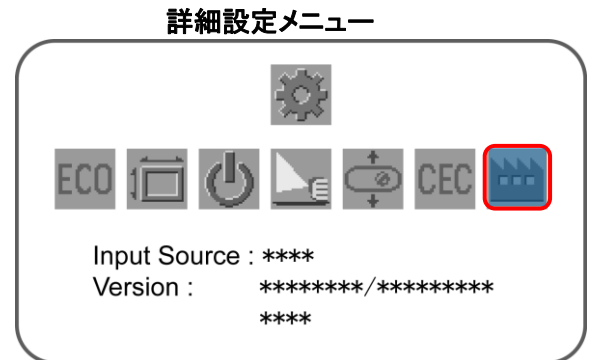
出荷設定に戻す

1. 詳細設定メニューを表示する

2. アイコンを選択する



リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで出荷設定アイコンを選択し、**↵** ボタンで選択を決定します。

出荷設定メニューが表示されます。



3. **< >** ボタンで操作する

リモコンまたは操作パネルの **< >** ボタンで

アイコン	内容
	出荷時設定に戻します。
	出荷時設定に戻しません。



↵ ボタンを押すと内容を決定します。

YES を選択して決定すると、出荷設定動作を開始します。
出荷設定が完了すると起動画面に戻ります。

NO を選択して決定すると、詳細設定メニューに戻ります。

各設定項目の出荷設定値は「メインメニュー」→P.45 をご覧ください。

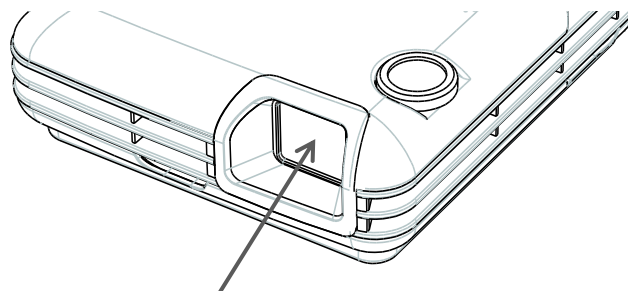
4 お手入れ

この章では、本機のレンズ、キャビネット、付属のリモコンのお手入れについて説明します。

レンズ、キャビネット、リモコンのお手入れ

レンズのお手入れ

1. 本機の電源が切っている状態で電気プラグを抜き、しばらく待って本体を冷まします。
2. 市販のレンズクリーニングペーパー(カメラやメガネの掃除用)で拭いてください。



投影レンズ部

⚠ 注意

- ランプの点灯中は強い光が投影されます。目を傷める恐れがありますので、絶対にのぞかないでください。
- レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

キャビネットやリモコンのお手入れ

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷やします。
2. ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。
リモコンはやわらかい乾いた布で汚れを拭き取ります。

 **注意**

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。ケースが劣化し割れるなどして感電の原因となります。
- キャビネットに殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

内部の点検・お手入れ

内部にほこりがたまった状態で使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、1年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。

お手入れ費用は販売店にご相談ください。

 **注意**

- お客様による内部のお手入れは、内部に電圧の高い部分があり、感電や故障の原因となりますのでおやめください。

5 故障かな？と思ったら

投写画面のアイコン表示



本機使用中に、警告や異常を知らせる下表のアイコンが画面右下に表示されることがあります。アイコンが表示されたら下表に従って処置してください。

処置後も同じアイコンが表示された場合は、販売店にご相談ください。

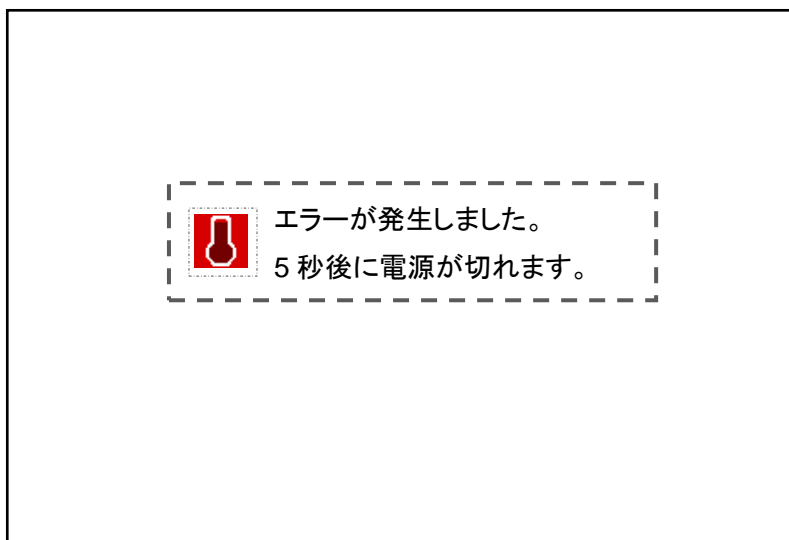
警告表示の例





アイコンが表示
されます。

アイコン	内容	対応
温度警告 	内部の温度が上昇しています。 温度警告のアイコンは、5分おきに10秒間表示されます。	すぐに電源を切り、30分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・通風口はふさがれていませんか。 ・通風口にほこりなどが溜っていませんか。 ・周囲温度が35℃を越えていませんか。
LED 光量低下 	LEDの光量が低下しています。LEDランプの光量が低下しており、交換時期となっています。交換時期を超えて使い続けると、更に光量が低下します。 LED光量低下のアイコンは、起動時に1度のみ表示されます。	販売店に修理を依頼してください。

エラー状態表示の例



アイコン	内容	対応
温度異常 	内部の温度が上昇しており、 5 秒後に電源が切れます。	30 分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・通風口はふさがれていませんか。 ・通風口にほこりなどが溜っていませんか。 ・周囲温度が 35℃を越えていませんか。
FAN 異常 	内部のファンに異常が発生しており、5 秒後に電源が切れません。	30 分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物をはさまったりしていませんか。 ・本機の近くに磁気を発生するものはありますか。

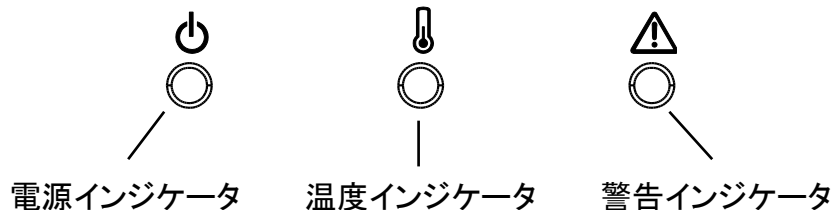

注意

- 本機はご使用となる環境温度が高い場合や、ほこり、タバコなどの煙が多い環境や、業務用途での長時間の連続使用でお使いになられる場合は、1 年未満の使用でも部品の寿命によって、性能、品質が劣化する場合があります。その場合は有償にて部品交換いたしますので、お買い上げの販売店か、最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。

温度 & 警告インジケータ表示

警告インジケータの点灯/点滅で内部温度やファンの状態を知らせます。

<操作パネル上部>



🔔 温度インジケータ (赤)		対応
点灯	内部温度の異常が発生した状態です。	本機の電源を切り、30分以上冷ましてから、以下のことをご確認の上、もう一度電源を入れてください。 ・通風口はふさがれていませんか。 ・通風口にほこりなどが溜まっていませんか。 ・周囲温度が35°Cを超えていませんか。
点滅 *0.25秒間隔	内部の温度上昇状態です。	内部の温度が上昇した状態です。 「投写画面のアイコン表示」→ P.68のアイコンに従い、処置してください。
消灯	異常なし	-
⚠️ 警告インジケータ (赤)		対応
点滅 *0.25秒間隔	内部のファンに異常が発生した状態です。	本機の電源を切り、30分以上冷ましてから以下のことをご確認の上、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物をはさまったりしていませんか。 ・本機の近くに磁気を発生するものはありますか。
点滅 *1秒間隔	LEDの光量が低下状態です。	LEDの光量が低下した状態です。 「投写画面のアイコン表示」→ P.68のアイコンに従い、処置してください。
消灯	異常なし	-

現象と確認

以下のような現象は故障ではない場合があります。修理を依頼するまえに、下表に従ってご確認ください。処置後も問題が解決しない場合、販売店にご相談ください。

現象	確認してください	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ➡ 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。 ➡ AC アダプタがしっかり差し込まれていますか。 ➡ 電源コードが断線していませんか。 ➡ 本機の温度が高くなっていますか。 ➡ 本機の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。 	→P.28 →P.28 →P.28 →P.28 →P.68,70 →P.68,70
電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 本機が切れる前に警告アイコンがでていませんか。 ➡ インジケータ(赤)が点灯または点滅していませんか。 ➡ 自動電源オフ機能が設定されていませんか。(初期設定:180分) 	→P.68 →P.70 →P.61
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ➡ リモコンでブランクスクリーンになっていませんか。 ➡ HDMI 端子のケーブルが正しく接続されていますか。 ➡ 接続(出力)機器側の映像はでていませんか。 ➡ 映像調整のコントラストの設定が最少になっていませんか。 ➡ 本機に対応していない信号を入力していませんか。 	→P.40 →P.29 →P.29 →P.41,54 →P.75
映像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 映像調整のブライトネスが正しく調整されていますか。 ➡ エコモードに設定されていませんか。 ➡ LED ランプの寿命が近づいていませんか。 	→P.41,53 →P.42,59 →P.68,70
映像が歪む	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 正しく設置されていますか。 ➡ 台形状に歪む場合は、キーストン(台形補正)を行ってください。 	→P.22 →P.36,47

現象	確認してください	参照ページ
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ➡ レンズの焦点はあっていますか。 ➡ 投写画面と本機が正しい位置で設置されていますか。 ➡ レンズが汚れていませんか。 ➡ レンズが結露していませんか。 ➡ 投写距離がフォーカスの合う範囲を超えていませんか。 	→P.35 →P.22 →P.66 →P.66 →P.35
映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 信号ケーブルのプラグは奥まで差し込まれていますか ➡ 本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。 	→P.29 →P.29
映像に輝点、黒点がある	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 表示デバイス特有の現象であり、故障ではありません。 	
映像に縞模様がある	<ul style="list-style-type: none"> ➡ スクリーンとの干渉によるものであり、故障ではありません。 	→P.35
映像に色ムラがある	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 本機特有の光の回折による現象で、故障ではありません。 	
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ➡ リモコンでミュート(消音)になっていませんか。 ➡ 音量が小さく調整されていませんか。 ➡ 接続(出力)機器側の音声はでていますか。 	→P.40 →P.38
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ➡ リモコンの電池が消耗していませんか。 ➡ 電池の極性は正しくセットされていますか。 ➡ リモコン送信部とリモコン受光部との間に障害物がありますか。 ➡ リモコンの有効範囲を超えていませんか。 ➡ リモコン送信部をリモコン受光部に向けていますか。 ➡ 蛍光灯などの影響を受けていませんか。 	→P.18 →P.18 →P.21 →P.21 →P.21 →P.21
インジケータ(赤)が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ➡ インジケータ一覧をご覧ください。 	→P.70

6 仕様

仕様

本機の仕様

形名		T-350
方式		単板 DLP 方式
表示デバイス	サイズ	0.45 型
	解像度	1,280×800 (WXGA)
	アスペクト比	16:10
投写レンズ	フォーカス調整	手動
	焦点距離	f = 9.05mm
	F 値	F 2.04
光源ランプ		3 LED (R,G,B)
画面サイズ (投写距離)		25 ~ 68 型 (0.48 ~ 1.33 m)
投写方式 (メニュー設定方式)		フロント/リア/デスクトップ/天吊り
明るさ		300 lm
コントラスト比 (全白/全黒)		1,000:1 (JIS X 6911) (10,000:1 当社測定基準)*
色再現性		フルカラー 1,677 万色
音声出力		1W モノラルスピーカー内蔵
音声出力端子		ステレオヘッドホン出力 (16Ω 以上)
入出力信号	HDMI	HDMI Type A×1 (HDCP 対応)
使用環境	動作温度	5°C ~ 35 °C
	動作湿度	85% (最大)
	保存温度	-20°C~+60°C
	保存湿度	90% (最大) 結露なきこと
入力電圧		DC12V~19V
電源 (付属)	AC アダプタ	入力: AC100~240V、50~60Hz 出力: DC12V
	消費電力	56.4W (DC12V, 4.7A) エコモード OFF 時 25.2W (DC12V, 2.1A) エコモード ON 時
外形寸法		132 mm (幅) x 143 mm (奥行) x 44 mm (高さ*ゴム足含む)
質量		480g

*プロジェクションシステムの最大白照度と最少黒照度の比

リモコンの仕様

電源	DC 3V (コイン形電池:型名 CR2032)
到達距離	6m
外形寸法	50 mm x 90 mm x 10 mm
質量	28.5 g(電池含む)

付属品

- リモコン *電池セット済 1 個
- 電源コード 1 本
- AC アダプタ 1 個
- HDMI ケーブル 1 個
- 安全上のご注意&クイックスタートガイド 1 冊
- 保証書 1 冊

対応解像度一覧

本機にはあらかじめ以下のシステムモードが用意されております。接続された信号を判断して、本機が以下のシステムモードを自動で選択します。

コンピュータ信号入力フォーマット(HDMI)

信号モード	解像度 (水平×垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 × 350	640 × 350	31.5	70.1
TEXT (70Hz)	720 × 400	37.9	70.0
TEXT (85Hz)	720 × 400	37.9	85.0
VGA (60Hz)	640 × 480	31.5	59.9
640 × 480 (67Hz)	640 × 480	35.0	66.7
VGA (72Hz)	640 × 480	37.9	72.8
VGA (75Hz)	640 × 480	37.5	75.0
VGA (85Hz)	640 × 480	43.3	85.0
SVGA (56Hz)	800 × 600	35.2	56.3
SVGA (60Hz)	800 × 600	37.9	60.3
SVGA (72Hz)	800 × 600	48.1	72.2
SVGA (75Hz)	800 × 600	46.9	75.0
SVGA (85Hz)	800 × 600	53.7	85.1
832 × 624 (75Hz)	832 × 624	49.7	74.5
XGA (60Hz)	1024 × 768	48.4	60.0
XGA (70Hz)	1024 × 768	56.5	70.1
XGA (75Hz)	1024 × 768	60.0	75.0
XGA (85Hz)	1024 × 768	68.7	85.0
1152 × 864 (75Hz)	1152 × 864	67.5	75.0
1152 × 870 (75Hz)	1152 × 870	68.7	75.1
W-XGA(60Hz)	1280 × 768	47.7	60.0
1280×800 (60Hz)	1280 × 800	49.7	60.0
1280×800 (75Hz)	1280 × 800	62.8	74.9
1280×800 (85Hz)	1280 × 800	71.6	84.8
1280×960 (60Hz)	1280 × 960	60.0	60.0
1280×960 (85Hz)	1280 × 960	85.9	85.0
SXGA (60Hz)	1280 × 1024	64.0	60.0
SXGA (75Hz)	1280 × 1024	80.0	75.0
1360×768(60Hz)	1360 × 768	47.7	60.0
SXGA+ (60Hz)	1400 × 1050	65.3	60.0

信号モード	解像度 (水平×垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
WXGA+(60Hz)	1440 × 900	55.9	59.9
WXGA+(75Hz)	1440 × 900	70.6	75.0
WSXGA+(60Hz)	1680 × 1050	65.3	60.0

ビデオ信号入力フォーマット(HDMI 端子)

信号モード	解像度 (水平×垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480i	720 × 480	15.73	59.94
480i	720 × 480	15.75	60.00
480p	720 × 480	31.47	59.94
480p	720 × 480	31.50	60.00
576i	720 × 575	15.63	50.00
576p	720 × 575	31.26	50.00
720p	1280 × 720	37.50	50.00
720p	1280 × 720	44.95	59.94
720p	1280 × 720	45.00	60.00
1080i	1920 × 1080	28.13	50.00
1080i	1920 × 1080	33.71	59.94
1080i	1920 × 1080	33.75	60.00
1080p	1920 × 1080	26.97	23.98
1080p	1920 × 1080	27.00	24.00
1080p	1920 × 1080	56.25	50.00
1080p	1920 × 1080	67.43	59.94
1080p	1920 × 1080	67.50	60.00

お知らせ

- 本機の解像度を越える信号は圧縮して表示します。
- 圧縮表示の場合は文字や線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- 表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。詳しくは、「詳細設定」→P.57 をご覧ください。

商標について

本書には以下の商標・登録商標が使用されています。

- ◆ **ELMO** は株式会社 エルモ社の登録商標です。
- ◆ DLP(Digital Light Processing)はTexas Instrumentsの商標です。
- ◆ HDMI、**HDMI**™ロゴおよび High-Definition Multimedia interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- ◆ その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

9 保証とアフターサービス

■ 保証書について

保証書は製品に添付されております。

必ず「販売店名・購入日」などが記入されている事を確認されるか、またはお客様のご購入日が確認できる書類(レシートなど)を保管してください。

保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間:ご購入日から1年間

■ 保証期間中に修理を依頼される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

■ 補修用性能部品について

補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

この部品の保有期間が修理可能の期間となります。

■ ご連絡していただきたい内容

- ・ ご住所・ご氏名・電話番号
- ・ 製品名・形名
- ・ ご購入日(保証書をご覧ください)
- ・ 故障内容
- ・ 異常の状況(できるだけ詳しく)

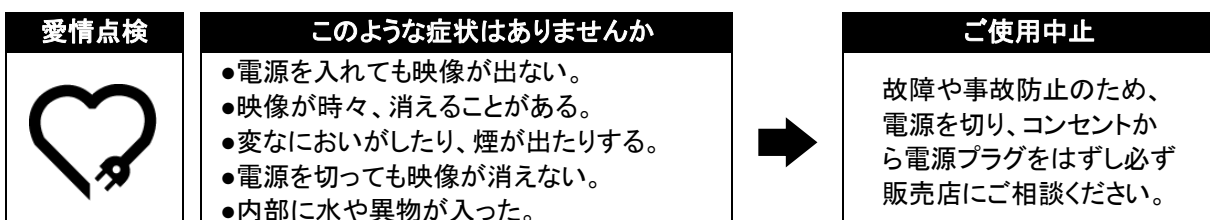
■ 保証期間経過後、修理を依頼される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

■ 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 長年ご使用のプロジェクトの点検はぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。



製品のお問い合わせは、下記営業部へ

株式会社 エルモ社

エルモソリューションカンパニー

<http://www.elmosolution.co.jp>

□ 営業統括本部

- | | | | |
|--------------|-----------|----------------------------------|------------------|
| ■ 北海道営業部 | 〒001-0021 | 札幌市北区北 21 条西 8 丁目 3 番 8 号 バックスビル | TEL.011-738-5811 |
| ■ 東北営業部 | 〒980-0023 | 仙台市青葉区北目町 1 番 18 号 ピースビル北目町 4 階 | TEL.022-266-3255 |
| ■ 中国営業部 | 〒730-0041 | 広島市中区小町 5 番 8 号 ドルチェ 2 階 | TEL.082-248-4800 |
| ■ 九州営業部 | 〒812-0039 | 福岡市博多区冷泉町 2 番 8 号 朝日プラザ祇園 2 階 | TEL.092-281-4131 |
| □ 首都圏営業本部 | 〒108-0073 | 東京都港区三田三丁目 12 番 16 号 山光ビル 4 階 | TEL.03-3453-6471 |
| □ セキュリティ営業本部 | 〒108-0073 | 東京都港区三田三丁目 12 番 16 号 山光ビル 4 階 | TEL.03-3453-6471 |
| □ 中部営業本部 | 〒467-8567 | 名古屋市瑞穂区明前町 6 番 14 号 | TEL.052-811-5261 |
| □ 近畿・四国営業本部 | 〒550-0014 | 大阪市西区北堀江三丁目 12 番 23 号 三木産業ビル 9 階 | TEL.06-6541-0123 |
| 徳島オフィス | 〒772-0017 | 鳴門市撫養町立岩字七枚 82 番地 | TEL.088-678-9035 |

6X1SPJDC1(ja) R02-Lxx